○運転適性検査業務取扱規則等の一部を改正する規則………

警

務

課

委

改

正

後

公安委員会

目

次

運転適性相談書

氏

生年月日 電話番号

公安委員会

引

大

原 け 中 普 大特二

普自一 小特

大自二

運転適性相談終了書の交付

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第2号(第6条の2関係)

青森県警察本部長 殿

相談(検査)内容

交付公安委員会

免許の条件

査 結 果

検査担当者

措

79
主
月
森
但
ノハ
報
十以

号外第二十一号

令和 和三年 三月二十九日 日 1

別	記様式	第2	号 (第	363	条の2	2 関1	米)											
					3	運	転	適	性	相	談	書						
													年		月		日	
	青森県	警察	(本部	長	殿													
										住		所						
										氏		名					! !	0
											年月話番			4	F	月	F	生
相	談(検	杏)	内容															
	交付を	安委	員会									公	安委	員会				
免	番		号															
許																		
п	免許	Ø 3	種類	大	中	準中	普	大	大自	普自	小	原	け	大	中	普	大特	け引
証				型	型	型型	通	特	=	Ξ	特	付	引	Ξ	=	Ξ	=	=
	免許	Ø ;	条件															
																		_
検	査	結	果															
_																		
措			置															
				*	運車	伝適位	性相	談終	了書	の交付	寸	7	Ĭ	無				
t/A	査 担	当	者													- 1	0	1

改

正

前

改正後欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分のように改める。 次の表により、改正前欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分をこれに順次対応する 令和三年三月二十九日

青森県公安委員会委員長

成

田

晋

青森県公安委員会規則第四号

運転適性検査業務取扱規則等の一部を改正する規則

第一条 (運転適性検査業務取扱規則の一部改正) 運転適性検査業務取扱規則

号)の一部を次のように改正する。 (昭和四十二年三月青森県公安委員会規則第二 運転適性検査業務取扱規則等の一部を改正する規則をここに公布する。

森県公安委員会規則第六号)の一部を次のように改正する。第二条 警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する規則(昭和六十年十月青(警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する規則の一部改正)

対応して掲げるその標記部分に二重傍線を付した規定(以下「対象規定」とい改正後欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分のように改め、改正前欄及び改正後欄に

改正前欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分をこれに順次対応する

次の表により、

			要	求		書			
				-,,		_			
							在	月	
吉森	県公安	- 委員 -	会 殿					/*	
			01条の6第2	2.項の規定	によりる	催認 を3	 求めます.		
				要求日					
				住	所				
				医療核					
				氏	名				Ē
	住	所							_
患	フリ	ガナ							,
者	氏	名						男・	女
	生年	月日		年	月		日		
(回往	李書送	付先)	T						
医	療機関	名							
所	在	地	〒 -						
	話番								_

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

月記 休	:八弗8万(5	月10宋例休)					
		届	出	書			
					年	月	Ħ
青森	県公安委員会	⇒ 殿					
道	路交通法第1	01条の6第1	項の規定に	より届け出	ます。		
			届出医的	術			
			住 戸	听			
			医療機	関			
			氏	名			
	住 所						
患	フリガナ					男・	tr.
者	氏 名					33 .	*
	生年月日						
有	莴 名						
£	註 状						
8	参考事項						
							l l

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

		要	求	ŧ	F		
					年	月	
青森	県公安委員	会 殿					
道	路交通法第	101条の6第2	項の規定によ	り確認	を求めます		
			要求医師				
			住 所				
			医療機関				
			氏 名				F
	住 所						
患	フリガナ					男・	4
者	氏 名					男・	y.
	生年月日		年	月	Ħ		
(回2	答書送付先)	·h					
医	療機関名						
所	在地	〒 −					
		1					

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様	式第8号(第	育10条関係)			
		届	出	書	
				年	月 日
青森	県公安委員会	₩ 殿			
道	路交通法第1	01条の6第1	項の規定によ	り届け出ます。	
			届出医師		
			住 所		
			医療機関		
			氏 名		印
	住 所				
患	フリガナ				
者	氏 名				男・女
	生年月日				
有	匆 名				
五	註 状				
*	参考事項				

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

改

正

後

るも
0
を
掲
げ
7
13
な
11
Ł
0
は
,
۲
ħ
を削
削
る
_

6 %	害発生6)経過				
7 倒	病名	, i	8	傷病の部位	9	傷病の程度
		と (剖検記:なる事項		災害が協力援助に	よるもので	であるかどうかを認定
るた	め参考	:なる事項		災害が協力援助に	よるもので	であるかどうかを認定
るた 11 医	め参考と	: なる事項)	災害が協力援助に.		
るた 11 医	め参考と 師の証明 から93	: なる事項	した事			
るた 11 医	め参考と 師の証明 から93	なる事項	した事			と証明します。
るた 11 医	め参考と 師の証明 から93	なる事項	した事		ないことも	シ証明します。 地

- 2 添付された診断書等に7から9まで及び10に掲げる事項が記入されているとき は、11の医師の証明は省略してもよい。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第	1	号	(第	2	条関	G

協力援助者災害発生報告書

		報	告	年月	日		年	月	日
1	青森県警察本部長 殿	文	書	番	号				
1	協力援助者の災害が次のとおり発生し	(4	報告	者の官	官職)				
た	ので報告します。								
1	協力援助を受けた者								
	官職階級								
	氏名				(年	月		日生)
2	協力援助者								
	住所								
	職業				(年	月		日生)
	氏名				t	生別			
3	給付を受けるべき者								
	住所								
	氏名				(年	月		日生)
	協力援助者との続柄又は関係								
4	災害発生の場所								
5	災害発生の日時								
1									

6	災害発生の経過		
7	傷病名	8 傷病の部位	9 傷病の程度
10	医師の意見(剖検記録 るため参考となる事項)	簿等災害が協力援助によ	るものであるかどうかを認定す
11	医師の証明 7から9までに記載し	た事項は、事実と相違ない	いことを証明します。
	年 月	Ħ	
		Ē	开在 地
		病院又は診療所の	
			医師氏名 @

- 注 1 各項の欄内に記入できないときは別紙としてもよい。2 添付された診断書等に7から9まで及び10に掲げる事項が記入されているとき は、11の医師の証明は省略してもよい。
 - 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第1号(第2条関係)

協力援助者災害発生報告書

青森県警察本部長 殿 報告年月日 年 月 日 文 書 番 号 次 書 番 号 (報告者の官職) たので報告します。 (報告者の官職) 1 協力援助を受けた者 官職階級 氏名 (年 月 日生) 2 協力援助者 住所 職業 氏名 性別 (年 月 日生) 3 給付を受けるべき者 住所 氏名 協力援助者との続柄又は関係 (年 月 日生) 4 災害発生の場所 (毎 月 日生) 5 災害発生の日時 (毎 月 日生)			#II /	生 4	: н			年	月	В
協力援助者の災害が次のとおり発生し (報告者の官職) たので報告します。 1 協力援助を受けた者 官職階級 氏名 (年 月 日生) 2 協力援助者 住所 職業 (年 月 日生) 氏名 性別 3 給付を受けるべき者 住所 氏名 (年 月 日生) 低力援助者との統何又は関係 4 災害発生の楊所	7	青森県警察本部長 殿							71	н
版力援助者の決策が次のとおり発生したので報告します。 1 協力援助を受けた者 信職階級 氏名 (年 月 日生) 2 協力援助者 住所 職業 (年 月 日生) 3 給付を受けるべき者 住所 氏名 (年 月 日生) 協力援助者との総柄又は関係 (年 月 日生) 協力援助者との総柄又は関係 (年 月 日生)										
1 協力援助を受けた者 1 協力援助を受けた者 1 協力援助者 (年月日生) (年月日年) (年月日年) (年月日年) (年月日年) (年月日日) (年月日) (年月日日) (年月日) (年日) (年日)			(#	V 111 1	I U) E	3 48K)				
官職階級 氏名 (年 月 日生) 2 協力援助者 住所 職業 氏名 (年 月 日生) 性別 3 給付を受けるべき者 住所 氏名 (年 月 日生) 協力援助者との続柄又は関係 4 災害発生の場所	たの	つで報告します。								I
氏名 (年 月 日生) 2 協力援助者 住所 職業 氏名 (年 月 日生) 氏名 性別 3 給付を受けるべき者 住所 氏名 (年 月 日生) 版为援助者との続柄又は関係 4 災害発生の場所	1	協力援助を受けた者	•							
2 協力援助者 住所 職業 氏名 (年 月 日生) 住別 3 給付を受けるべき者 住所 氏名 (年 月 日生) 協力援助者との統柄又は関係 4 災害発生の楊所		官職階級								
住所 職業 氏名 (年 月 日生) 住別 3 給付を受けるべき者 住所 氏名 (年 月 日生) 協力援助者との続柄又は関係 4 災害発生の場所		氏名				(年	月	F	1生)
住所 職業 氏名 (年 月 日生) 住別 3 給付を受けるべき者 住所 氏名 (年 月 日生) 協力援助者との続柄又は関係 4 災害発生の場所										
職業 氏名 (年 月 日生) 性別 3 給付を受けるべき者 住所 氏名 協力援助者との続柄又は関係 (年 月 日生) 4 災害発生の場所	2	協力援助者								
氏名 性別 3 給付を受けるべき者 住所 氏名 (年 月 日生) 協力援助者との続柄又は関係 4 災害発生の場所										
3 給付を受けるべき者 住所 氏名 (年 月 日生) 協力援助者との続柄又は関係 4 災害発生の場所								月	E	1生)
住所 氏名 (年 月 日生) 協力援助者との続柄又は関係 4 災害発生の場所		氏名				t!	生別			
氏名 (年 月 日生) 協力援助者との続柄又は関係 4 災害発生の場所	3	給付を受けるべき者								
協力援助者との続柄又は関係 4 災害発生の場所		住所								
4 災害発生の場所		氏名				(年	月	E	1生)
		協力援助者との続柄又は関係								
5 災害発生の日時	4	災害発生の場所								
5 災害発生の日時										
5 災害発生の日時										
	5	災害発生の日時								

前

正

改

(注 意 事 項)

あなたは、下記の事由に該当するときは、それぞれの事由に対応する給付を受けることができますので、速やかに請求書を提出してください。

諸求に必要な手続等詳細については、近くの警察署に問い合わせてください。

あなたが受けることができる給付の内容

あなたが被災者である場合

りなだい板火有でめる場合) 療養給付 協力援助したために受けた負傷又は疾病については、次に掲げるもので、 療養上相当と認められるものを療養給付として受けることができます。 ※☆

診察 薬剤又は治療材料の支給

金元人は日本が10~3年 地置、手術その他の治療 居宅における療養上の管理及びその療養に伴う世話その他の看護 病院又は診療所への入院及びその療養に伴う世話その他の看護

(2) 傷病給付

を受けることかできます。) ・ 障害給付年金前払一時金 ・ 障害給付年金を受けることができる場合は、申出により、障害の程度に応 じた額の範囲で選択した障害給付年金前払一時金を受けることができます。 なお、この場合、年金の支給は、一定期間停止されることになります。 ・ 今無か付

なお、この場合、年金の支給は、一定期間停止されることになります。
(5) 介護給付 傷病給付年金又は障害給付年金を受けることができる場合で、国家公安委 員会規則で定める程度の障害により常時又は随時介護を要する状態にあり、 かつ、実際に介護を受けているときは、その期間(病院等に入院している期間を除く。)、介護給付を受けることができます。
(6) 休業給付 数 14週11 ときいの負債では存電の容差のとめが前週でいた何3 45個とも

協力援助したための負傷又は疾病の療養のため従前得ていた収入が得られ ないときは、その期間、給付基礎額の $\frac{60}{100}$ に相当する金額の休業給付を受

けることができます。 2 あなたが被災者以外の者である場合

このはよか吸水中のパヤッセ、の心の面 (1) 遺族部でじした協力援助者の遺族であって、次のア及びイの要件を充た 方場合は、遺族給行年金を受けることができます、遺族給付年金を受けることができる遺族がいない場合は、政令の規定により、遺族給付一時金を受けることができる遺族がいない場合は、政令の規定により、遺族給付一時金を受けることができる遺族がいない場合は、政令の規定により、遺族給付一時金を受けることができます。

とができる遺族がいない場合は、政令の規定により、遺族給付一時金を受けることができます)。 ア 協力援助者の死亡の当時、その収入によって生計を維持していたこと。 イ 次の表の①から①までに掲げる遺族のいずれかに該当し、先順低の者がい ないこと (順位は、①から②までの影号のとおりであり、気に掲げる者の間 にあっては、夫、父母、祖父母、兄弟姉妹の順序となります。)。

別記様式第2号(第3条関係)

通	知年月日		年	月		日	通	知番	무			第	号
住	所	•											
氏	名			殿									
										害态	直整 容	本部長	
										13 ///	A = A		
			災	害	給	付	通	知	書				
ż	らなたは、警	察官の耶	被務に	協力	援助	した	者の	災害	給付	こ関す	る法律	の規定に	ζJ
ŋ.	下記の災害	に対する	5給付	を受	ける	こと	がで	きま	ナの	で、通	知しま	す。	
						記							
1	災害を受け	た者											
	住 所												
	氏 名								(年	月	日生)	
2	傷病名												
3	災害発生年	月日				年		月	H				

(注 意 事 項)

1 あなたは、下記の事由に該当するときは、それぞれの事由に対応する給付を受けることができますので、速やかに請求審を提出してください。

2 請求に必要な手続等詳細については、近くの警察署に問い合わせてください。

あなたが受けることができる給付の内容

あなたが被災者である場合

あなたが被災者である場合

1) 療養給付

協力援助したために受けた負傷又は疾病については、次に掲げるもので、 療養上相当と認められるものを療養給付として受けることができます。

ア 診察

イ 薬剤又は治療材料の支給

ウ 処置、手術その他の治療

- 居宅における療養上の管理及びその療養に伴う世話その他の看護

オ 病院又は診療所への入院及びその療養に伴う世話その他の看護

カ 経路

移送

(2) 傷病給付

協力援助したための負傷又は疾病が療養の開始後1年6月を経過した日以 際の方法別したこの人気限が入れるがある。 後において、治らないで傷病等級に該当する程度の障害の状態が維続しているときは、その期間、その程度に応じて傷病給付を受けることができます。 なお、傷病給付を受ける場合には休業給付を受けることができません。

(4)

なお、傷病給付を受ける場合には釆来和りで又いること。 障害給付 協力援助したための負傷又は疾病が治ったとき、障害等級に該当する程度 の障害が残ったときは、その程度に応じて障害給付年金又は障害給付一時金 を受けることができます。 障害給付年金を受けることができる場合は、申出により、障害の程度に応 じた額の範囲で選択した障害給付年金前払一時金を受けることができます。 なお、この場合、年金の支給は、一定期間停止されることになります。 へが連給付

(5) 介護給付

) 介護部付 権病給付年金又は障害給付年金を受けることができる場合で、国家公安委 員会規則で定める程度の障害により常時又は随時介護を要する状態にあり、 かつ、実際に介護を受けているときは、その期間 (病院等に入院している期間を除く。)、介護給付を受けることができます。) 休棄給付 協力援助したための負傷又は疾病の療養のため後前得ていた収入が得られ

ないときは、その期間、給付基礎額の $\frac{60}{100}$ に相当する金額の休業給付を受 けることができます。

あなたが被災者以外の者である場合

(1) 遺族給付 あなたが死亡した協力援助者の遺族であって、次のア及びイの要件を充た す場合は、遺族給付年金を受けることができます、遺族給付年金を受けることができる遺族給付年金を受けることができる遺族給付一時金を受け ご言ながいない場合は、政令の規定により、遺族給付一時金を受け

とができる遺族がいない場合は、政令の規定により、遺族給付一時金を受けることができます)。 ア 協力援助者の死亡の当時、その収入によって生計を維持していたこと。 イ 次の表の①から①までに掲げる遺族のいずれかに該当し、先順位の者がい ないこと (順位は、①から②までの番号のとおりであり、②に掲げる者の間 にあっては、夫、父母、祖父母、兄弟姉妹の順序となります。)。

通知年月日	年	月	日	通知種	号			第	
住 所									
氏 名		殿							
						青森	県警察	本部長国	0
	災	害	給付	通知	書				
あなたは、警察官	の職務に	協力技	受助した	者の災害	斜給付	に関す	る法律	の規定に	ح
り、下記の災害に対	する給付	を受け	けること	ができま	ナの	で、通	知しま	す。	
			話						
· (((由) 元 ())) (()									
 災害を受けた者 									
住 所									
氏 名					(年	月	日生)	
2 傷病名									
- 100.17.14									
				_	_				
3 災害発生年月日			年	月	F				

障害等級	額
1 級	給付基礎額に1,340を乗じて得た額
2 級	給付基礎額に1,190を乗じて得た額
3 級	給付基礎額に1,050を乗じて得た額
4 級	給付基礎額に920を乗じて得た額
5 級	給付基礎額に790を乗じて得た額
6 級	給付基礎額に670を乗じて得た額
7 級	給付基礎額に560を乗じて得た額

(5) 未支給の給付 あなたが給付の受給権者の遺族であって、死亡した受給権者に支給される べき給付でまた支給されなかった分がある場合は、その未支給分の給付を受 コープールーナー けることができます。

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

順位	遺	族
1	妻又は60歳以上の夫	
2	18歳に達する日以後の最初の3月31日までの	間にある子
3	60歳以上の父母	
4	18歳に達する日以後の最初の3月31日までの	間にある孫
(5)	60歳以上の祖父母	
6	18歳に達する日以後の最初の3月31日までの の兄弟姉妹	の間にあるか又は60歳以上
7	55歳以上60歳未満の夫、父母、祖父母又は兄	L弟姉妹
備者	去, 子, 父母, 孫, 祖父母又は兄弟姉妹が	3. 協力援助者の死亡の当

等 夫、子、父母、様、祖父母又は兄弟姉妹が、協力援助者の死亡の当 時、身体若しくは精神にて縁以上の障害等級の障害に該当する程度の障 音がある状態又は負害者とは疾病が治らないで、身体の機能者しくは 精神に軽易な労務以外の労務に限することができない程度以上の故障が ある状態にあったときは、①から⑥までに掲げる遺族の年齢に関する要 件はなくなります。

(ア) 協力援助者の死亡した日	(1)	(ウ)	(工)
昭和61年9月30日まで	55歳以上		
昭和61年10月1日から昭和62年9月30日まで	56歳以上	55歳	56歳
昭和62年10月1日から昭和63年9月30日まで	57歳以上	55歳以上57歳未満	57歳
昭和63年10月1日から平成元年9月30日まで	58歳以上	55歳以上58歳未満	58歳
平成元年10月1日から平成2年9月30日まで	59歳以上	55歳以上59歳未満	59歳

「学校パエドロ月1日から学校2年9月30日まで | 50歳以上 | 50歳以上59歳未調 | 5 (2) 遺族給付年金前払一等金 あなたが遺族給付年金を受けることができる場合は、申出により、一 額の範囲で選択した遺族給付年金が出、中等金受けることができます。 なお、この場合、年金の支給は、一定期間停止されます。 (3) 募祭給付

) 葬祭給付 あなたが死亡した協力援助者の葬祭を行った者である場合は、通常葬祭に 要する費用を考慮して政令で定める金額の葬祭給付を受けることができま せ

す。 (4) 障害給付年金差額一時金 あなたが障害給付年金を受ける権利を有する協力援助者の遺族であって、 死亡した協力援助者に支給された障害給付年金及び障害給付年金施払一時金 の合計額が数令に定める障害の程度に定じた額(注参期)に満たないとき は、その差額に相当する額の障害給付年金差額一時金を受けることができます。

7.0 (注) 警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行令附則第2 条 (抄)

障害等級	額
1 級	給付基礎額に1,340を乗じて得た額
2 級	給付基礎額に1,190を乗じて得た額
3 級	給付基礎額に1,050を乗じて得た額
4 級	給付基礎額に920を乗じて得た額
5 級	給付基礎額に790を乗じて得た額
6 級	給付基礎額に670を乗じて得た額
7 級	給付基礎額に560を乗じて得た額

(5) 未支給の給付 あなたが給付の受給権者の遺族であって、死亡した受給権者に支給される べき給付でまだ支給されなかった分がある場合は、その未支給分の給付を受 けることができます。

用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

順位	遺	族
1	妻又は60歳以上の夫	
2	18歳に達する日以後の最初の3月31日ま	での間にある子
3	60歳以上の父母	
4	18歳に達する日以後の最初の3月31日ま	での間にある孫
5	60歳以上の祖父母	
6	18歳に達する日以後の最初の3月31日ま の兄弟姉妹	での間にあるか又は60歳以上
7	55歳以上60歳未満の夫、父母、祖父母又	は兄弟姉妹

備考 夫、子、父母、孫、祖父母又は兄弟姉妹が、協力援助者の死亡の当 時、身体若しくは精神にて彼以上の障害等級の障害に誘当する程度の障 害がある状態又は負債者しくは疾病が治らないで、身後の機能若しくは 精神に軽易な労務以外の労務に限することができない程度以上の故障が ある状態にあったときは、①から⑥までに掲げる遺族の年齢に関する要 件はなくなります。

ただし、あなたが⑦に掲げる者であるときは、60歳に達するまでの間は、遺 族給付年金の支給が停止されます。 なお、協力援助者の死亡した日が次の表の(ア)の欄の区分のいずれかに該当 するときは、上の表に掲げる遺族の年金についての要件は、次のようになりま

「、ア 上の表の①、③、⑤及び⑥に掲げる壺族については、「60歳以上」とある 部分は、それぞれ、次の表の(ア)の欄の区分に応じて、(イ)の欄に掲げる年 齢となります。 【 上の表の⑦に掲げる壺族については、「55歳以上60歳未満」とある部分 は、それぞれ、次の表の(ア)の欄の区分に応じて、(ウ)の欄に掲げる年齢と なります(ただし、上の表のの)剛に掲げる者が次の表の(この欄に掲げる 年齢に達するまでの間は、遺族給付年金の支給が停止されます。)。

(ア) 協力援助者の死亡した日	(1)	(ウ)	(工)
昭和61年9月30日まで	55歳以上		
昭和61年10月1日から昭和62年9月30日まで	56歳以上	55歳	56歳
昭和62年10月1日から昭和63年9月30日まで	57歳以上	55歳以上57歳未満	57歳
昭和63年10月1日から平成元年9月30日まで	58歳以上	55歳以上58歳未満	58歳
平成元年10月1日から平成2年9月30日まで	59歳以上	55歳以上59歳未満	59歳

(4) 障害給付年金差額一時金 あなたが障害給付年金を受ける権利を有する協力援助者の遺族であって、 死亡した協力援助者に支給された障害給付年金及び障害給付年金施計、一時金 の合計額が数令に定める障害の程度に定した類(注参期)に満たないさき は、その差額に相当する額の障害給付年金差額一時金を受けることができま

(注) 警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行令附則第2 条(物)

別記様式第3号(第5条関係)

円

円

円

				(交通費)									
6	移	送	費	から	まで	牛口	× —] 片道] 往後		1			円
				(その他	の移	送費)								円
7 上記以外の 療養費												円		
8	8 療養給付請求金額													円
9	銀	行	振込	先金融機 銀行	関名	支店	預	法人機関又は役職の名称 (個人名義の場合は記入						
送			口座	の記号番	号		金		見です		00 LI (10%)			
送金希望の		込み	口当	通預金 座預金			名義							
主の場	送小	金野		銀行		支店	者	(5	リカ	(ナ)				
合	そ	の他					名	氏	名					
* 5	受理			※決定			% 3	支払			※決	定金智	領	
	年	月	日	年	月	日	£	E	月	日				円
											添付書	斯類		枚

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。該当する口にm
 uを記入すること。 「削る。]
 - 2 「(給付費用の受額委任)」の欄には、診療に当たった医師若しくは医療機関又 は調剤に当たった薬剤師若しくは薬局に療養給付の費用の受額を委任しようとす る場合にのみ記入し、その他の場合には、記入しないこと。
 - 3 「5 看護料」及び「6 移送費」については、訪問看護の場合を除き、費用の領収書又はこれに代わる証明書及び明細書を添付すること。
 - 4 「7 上記以外の療養費」の欄には、その領収書及び明細書を添付すること。
 - 5 (2)、(3)又は(4)の用紙の記入に代えて同様事項を記入した医師、薬剤師、 柔道整復師又は訪問看護事業者の証明書を添付してもよい。
 - 6 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

療養給	付 請	求	書			(1)
			請	求回数	第	П
	請求生	年月 日		年	月	日
青森県警察本部長 殿	(請求者	者)	•			
次のとおり療養給付を請求します。	住 所					
	氏 名					
(給付費用の受領委任)						
この請求書による療養給付の費用の受信	領を		lZ.	委任し	++	
				SEIT O	- / 0	
		氏	名	TIL O	. / 0	
(委任に基づく支払請求)		氏				
(委任に基づく支払請求) 上記委任に基づき、この請求書による!	索養給付6		名			<u>[]]</u>
		の費用の	名			
	家養給付6 支払請3	の費用の	名の支払			<u> </u>
		の費用の	名の支払主所			<u> </u>
上記委任に基づき、この請求書による		の費用の	名の支払主所			

2 負傷又は発病の年月日 年 月 日午前 時 分ころ

3 診 療 費 内訳は「10 医師の証明」欄記入のとおり

4 調 剤 費 内訳は「11 薬剤師の証明」欄記入のとおり

□訪問看護 内訳は「12 訪問看護事業者の 証明」欄記入のとおり

年 月 日から 年 月 日まで 日間 (看護師の資格) 日 日まで 日間 (□有 □無)

_			— т									
				(交通費)							
6	移	送	費	から	まで	牛口	×-		□片道 □往復		1	円
				(その他	の移		円					
7	上書療養	記以夕 E費	トの								円	
8 療養給付請求金額										円		
9	銀	行	振辽	λ先金融機関名 銀行 支店							没職の名称 場合は記入	
送		口座の記号番号 金 不要です。)			勿口 (よれし)へ							
送金希望の場合		込み		通預金 座預金			名義					
主の場	送小	金切手		銀行		支店	者	(:	フリカ	ナ)		
合	そ	の他					名	氏	名			
% 5	受理			※決定			* 3	支払			※決定金額	
	年	月	日	年	月	日	£	E	月	日		円
				•							添付書類	枚

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。該当する口にm
 uを記入すること。
 - 2 氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
 - 3 「(給付費用の受領委任)」の欄には、診療に当たった医師者しくは医療機関又 は調剤に当たった薬剤師若しくは薬局に療養給付の費用の受領を委任しようとす る場合にのみ記入し、その他の場合には、記入しないこと。
 - 4 「5 看護料」及び「6 移送費」については、訪問看護の場合を除き、費用 の領収書又はこれに代わる証明書及び明細書を添付すること。
 - <u>5</u> 「7 上記以外の療養費」の欄には、その領収書及び明細書を添付すること。
 - 6 (2)、(3)又は(4)の用紙の記入に代えて同様事項を記入した医師、薬剤師、 柔道整復師又は訪問看護事業者の証明書を添付してもよい。
 - _____ 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第3号(第5条関係)

	療	養	紿	付	請	求	書				(1)
								請求回	回数	第	回
					請求	年月日	3		年	月	Ħ
青森県警察本部	長 殿				(請求	者)					
次のとおり療養給付	寸を請求し	ます			住月						
					氏 名	1				L	(1)
(給付費用の受領委任)											
この請求書によ	る療養給付	の費	用のき	を領す	È			に委任	Eli	ます。 -	
						E	£ 4	K			•
(委任に基づく支	公請求)										
(委任に基づく支払請求) 上記委任に基づき、この請求書による療養給付の費用の支払を請求します。											
							住戸	听			
				3	支払請	求者0	氏名	ž.		- [•
1 協力援助者 住 所											
任 別 氏 名							(任	В	日生	=)
PA 11							(74	HI	-/
2 負傷又は発病の	の年月日	年	.)	1	日午	前後	時	分こ	: S		
3 診療費	内訳は「	10	医師の	り証明	明」欄	記入の	りとは	99			円
4 調 剤 費	内訳は「	11	薬剤的	市の言	证明」	欄記え	人のと	とおり			円
F 75 *# 40	□訪問看				2 訪 記入の			業者の			
5 看 護 料	年 月		から まで	F		看護的 □有		資格) □無)			円

そ	(治療	族名・回数	收等)							
の										
他										
	入隊	光期 間	年	月	日から	年	月	日まで	日間	
入	基準	看特2	入院料 (室料	・看護料	・給食	料)			
	給食	看特1								
	普通給食	看1								
院	基準	看2	入院時医	学管	理料					
154	寝具	看3								
	そ	の他								
診療	装費の台	計								円
١	上記の	事項は事業	実と相違な	いこ	とを証明	します				
	年 月 日									
所 在 地										
	病院又は診療所の 名 称									
	医師氏名									

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

				(2)
% 10) 医師(り証明	(患者氏名)	
傷	病	名	(診療期間)	
傷 (病 の 現在の状	経 過能)	年月日日 □治ゆ□発亡□転医□中止□継続中 診療実日数	月 日から 日 日ま間 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
診療	費の内部	R	1	金額 (円)
診	初	診		
	再	診		
	往	診		
察	指	導		
投	内	服	(処方内容・使用量等)	
	屯	服		
薬	外	用		
注	皮下前	肉肉		
	静脈			
射	そ の	他		
処術	(処置:	名・手術	f名・回数等)	
置麻酔			(手術施行年月日) 年 月 日	
検	(検査:	名・回数	女等)	
查				
V	透 視	診断	(使用フイルム・回数等)	
ント	写 真			
ゲ	撮	影		
ン	造影	剤		

そ	(治療名・回	汝等)							
の									
他									
	入院期間	年 月 日から 年 月 日まで 日間							
入	基準 看特 2 給食	入院料(室料・看護料・給食料)							
	看特1								
	普通 看1								
院	五 主 注 注	入院時医学管理料							
100	基準 看3								
	その他								
診療	装費の合計		円						
J	上記の事項は事実と相違ないことを証明します。								
	年 月 日								
	所 在 地								
	医師氏名	•							

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

						(2)
% 10	0 医	師の)証	明	(患者氏名)	
傷		病		名	(診療期間)	
傷 (病現在	の ; の状	経能)	過	年 月 日 □治ゆ □死亡 □転医 □中止 □継続中 診療実日数	月 日から 日ま間 日間日
診療	養の	内部	7			金額(円)
診	初			診		
	再			診		
	往			診		
察	指			導		
投	内			服	(処方内容・使用量等)	
	屯			服		
薬	外			用		
注	皮	下筋	肉	内		
	静	脈		内		
射	そ	0)		他		
処術	(久	几置	占.	手衫	所名・回数等)	
置・麻手酔					(手術施行年月日) 年 月 日	
検	(村	食査	λ.	回数	女等)	
查						
ν	透	視	診	断	(使用フイルム・回数等)	
ント	写	真	診	断		
ゲ	撮			影		
ン	造	影		剤		

(3)

月	Ħ	月	H							
月	日	月	日							
月	日	月	日							
月	H	月	日							
月	日	月	日							
調	剤費	の合語	+	•						円
処	方せ	んのキ	女数			枚				
上	記の	事項(事	起と相	違ないこ	とを証明し	します。			
		£	F	月	日					
							Ē	所 在 :	地	
						薬月		名 表 表剤師氏:		

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

											(3)
※ 1	1 3	薬剤師	の証	明	(患者氏	(名)					
処方せんを交付した病院又は 診療所の 医師氏名											
調剤期間 年 月 日から 年 月 日まで 日間											
								1	周剤実日数	枚	Ħ
		調		剤	費	Ø	内	訳		金額	(円)
処月	方日	調月	剤日	剤型	処	方	調剤数量	薬剤	調剤手数料		
月	月	月	B				201.000	H	円		
月	日	月	H								
月	日	月	日								
月	日	月	日								
月	日	月	日								
月	日	月	日								
月	日	月	Ħ								
月	日	月	日								
月	日	月	日								
月	日	月	日								
月	日	月	日								
月	日	月	日								
月	日	月	日								
月	日	月	日								
月	日	月	Ħ								

月	日	月	日							
月	H	月	H							
月	H	月	H							
月	H	月	H							
月	日	月	日							
部間	剤費	の合詞	+							円
処	方せ	んの村	女数			枚				
上	記の	事項	1事3	尾と相談	象ないこと	とを証明 [ょす。			
		4	F	月	Ħ					
							Ē	所 在 均	也	
						薬ル	弱の 4	K 1	尓	
							j j	表剤師氏	ž.	•

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

% 1	※11 薬剤師の証明 (患者氏名)										
原 在 地 処方せんを交付した病院又は 診療所の 医師氏名											
調剤期間 年					月	日から	年		日まで関剤実日数		日間日
		調		剤	費	の	内	訳		金額	(円)
処月	方日	調月	剤日	剤型	処	方	調剤数量	薬 剤 価格	調剤手数料		
月	H	月	日					円	H		
月	F	月	日								
月	H	月	日								
月	日	月	月								
月	日	月	F								
月	日	月	日								
月	日	月	日								
月	F	月	H								
月	日	月	Ħ								
月	日	月	Ħ								
月	日	月	日								
月	日	月	日								
月	日	月	Ħ								
月	日	月	日								
月	日	月	日								

別記様式第4号(第5条関係)

障害給付一時金請求書

_					
	音森県警察本部長 殿	請求年月日	年	月	Ħ
1	可採泉會祭本部長 版	(請求者)			
ì	次のとおり障害給付一時金を請求しま	住所			
す。		氏名			
1	協力援助者				
	住 所				
	氏 名	(年	月	日生)
2	負傷又は発病の年月日	3 治癒年月日			
	年 月 日		年	月	日
4	障害等級			第	級
5	障害の部位及びその程度				
	THE TREE CONTRACTOR				
6	既存障害とその程度				
7	障害給付一時金請求金額	/AL 8/1			
		(倍数)			
	P	9× =		円	
8	添付する書類その他の資料名				

※ 1	2 訪問看	護事:	業者の証明				(#	者1	(名)							
傷症	有名						(2)	問羽	音護男	月間)						
傷症	可の経過									年	月		日から	5		
										年	月		日まて	ĘP		
								訪問看護の回数 回								
其	保健師、	看護師	師、理学療法	±,			指示	指示年月日 年 月						月	В	
杰	作業療法	±					主社	医/	、 の直	近報	告年月	B		年	月	B
平療			円×			円	訪	問	B							
※ 美									1	2	3	4	5	6	7	
我	準看護師								8	9	10	11	12	13	14	
я			円×			H			15	16	17	18	19	20	21	
管		理	初日			円			22	23	24	25	26	27	28	
療	簽	費	2回目以降	п		円			29	30	31					
Loke	ân ân	pu.					提供した情報の概要									
情疲	報提	供費				д	2-85-AG	1 191. (1	th district	市町村	st-Ar					
286.	36	я				1.1	112 15	* NC I		2112-21	3.44					
9-	- ミナルク	ナア				H	(6)	考)								
療	養	費	死亡年月日	4	月	B										
合		計				円										
訪問	問看護を指	示した	た医療機関の	名称及て	主治医	の氏名										
	医療機関	の名材	称													
	主治医	氏:	名													
J	上記の事項は事実と相違ないことを証明します。															
年 月 日							h: u	h								
			(5) (1) (1)	麦 爭 菜 省	-(/)	名	利 者氏名						7			
Ш	l fi							i			_ ;		<u> </u>			

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第4号(第5条関係)

障害給付一時金請求書

	請求年月日	年	月	日
青森県警察本部長 殿	(請求者)			
次のとおり障害給付一時金を請求しま	住所			
-	氏名			•
. Ith I listing size			'	
1 協力援助者				
住 所 氏 名	(年	月	п 4-)	
式 名	(#	Я	日生)	,
2 負傷又は発病の年月日	3 治癒年月日			
年 月 日		年	月	H
4 障害等級			第	級
4 障告予核			弗	极
5 障害の部位及びその程度				
c unterpreted by a confidence				
6 既存障害とその程度				
7 障害給付一時金請求金額				
(給付基礎額)	(倍 数)			
F	9× =		円	
8 添付する書類その他の資料名				
8 総刊する書類での他の資料名				

※12 訪問看護事業者の証明	(患者氏名)									
傷病名	(訪問看護期間)									
傷病の経過	年 月 日から									
	年 月 日まで									
1	訪問看護の回数 回									
其 保健師、看護師、理学療法士、	指示年月日 年 月 日									
本作業療法士	主治医への直近報告年月日 年 月 日									
療 円× 回 円	訪 問 日									
Mr	1 2 3 4 5 6 7									
4-11800	8 9 10 11 12 13 14									
M H M	15 16 17 18 19 20 21									
管 理 初 日 円	22 23 24 25 26 27 28									
療養費2回目以降回円	29 30 31									
情 報 提 供	提供した情報の概要									
療 養 費 円	情報提供先の市町村名									
ターミナルケア 円	(備考)									
療 養 費 死亡年月日 年 月 日										
合 計 円										
訪問看護を指示した医療機関の名称及び主治医の氏名	I									
医療機関の名称										
主治医氏名										
上記の事項は事実と相違ないことを証明します。	上記の事項は事実と相違ないことを証明します。									
年 月 日	在 地									
訪問看簿事業者の名	称									
	者氏名 👨									
汁 用紙の十をさけ 口本産業組数 A 4 彩	Tagled .									

別記様式第4号の2 (第5条関係)

介護給付請求書

			10	護	船	Ħ.	請	求	番					
										請求	《回数	9	Ř	
	de de sil districte de des la	r 105.				請求	水年月	日		4	F.	月	H	
1	青森県警察本部長	と販					青求者)						
-	下記のとおり介置	能給付る	·請求	します		住氏	所名							
1	協力援助者													
	住 所 名								(年	月	E	生)
2	負傷又は発病の	9年月日	3						4	¥	月		H	
3							4	年金	証明の	の番号	2.			
	□ 傷病給付年金□ 障害給付年金			級級		号) 号)				9	te .			무
,	障害の部位及び			7004	214		6	A 98	を要			ET /\		77
	理者の部位及じ う日常生活の状態		15度业	UNCE	政障者	~IF	ь	21.19			に態む		5状態	9
										迪時介	演を	要する	5状態	25
7 請	請求対象年	月日	介部	し 要	する費出した	用額			ら介記		請	求	月	額
求	年	月				円		有		無				円
内容	年	月				円		有		無				円
8	介護を受けた場	所												
	」 自宅」 病院・施設等	5 (名)	fc -)					
,	入院 (入所)				年	月	H	~	. ′		年	月	E	1
9	氏	名	請求	者と又は関	の保	請求	者	水	介額	· を	受し	ナた	期	開
	挨等					年		月		~	年		月	日
	介護 逆事					年		月	, ,	~	年		月	日
	た者				_	年年		月月		~	年年		月月月	日日
10		A 95				*		Н	Ħ	~	*		Н	H
11	添付する書類? の資料名	の他												
* 3	受理 年 月	₩	決定年	月	В	% 3	友払 年		月	В	※決定	全部		円
	T //	H	4-	- 71	Н	1	4-	_	73	3-4				п

9 送金希望の場合	送小	行み金手他	口座	の記 の記 通預を 座預	機機関 子番号 全金 表行		支店	預金名義者名	不要	し名主 です。 リガリ	^{後の場})	職の名材合は記力		
	受理 年	月	日	※決 4		月	B		支払 年	月	日	※決定	金額	円
		給	付		基		礎	名	Ħ					円
*		ž	基		準	1		名	Ħ					円
10	内				配		偶		者					円
10		64.	Mr Are	44		子			人					円
Pia 计	訳	扶!	後 親	族	特定		間に		人					円
基	A/G				そ	の	他		人					円
礎額の証明	ń	给付基础	滞額に 年		ては、	上部	己のと	おり木	目違ない	\Z &	を証	明します	0	
									Ŧ	肾森県	警察	本部長		

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。 [削る。]
 - 2 「5 障害の部位及びその程度」の欄の記入事項が添付された診断書の記載事 項と同じであるときは、「診断書の記載事項のとおり」と記入すること。
 - 3 「6 既存障害とその程度」の欄には、新たに既存の障害の程度を加重した場 合に記入するものとし、既存障害について障害給付を支給された場合は、その該 当する障害等級を明記すること。
- 4 この請求書には、治癒の時期の決定及び障害等級の決定に必要な医師の診断書 その他の書類及び資料を添付すること。
- 5 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第4号の2 (第5条関係)

介護給付請求書

青春県警察本部長 殿 請求年月日 年月日 1 協力援助者 住所 民名 (請求者) 任務 (年月日生) 2 負傷又は発病の年月日 (年月日生) 3 受けている年金の種類 同傷病的性争を(傷所等級 原審治的性争を(傷所等級 級第 労) 4 年金証明の番号 第 年 6 介護を要する状態の区分 同胞のの施及ひその程度並びに当該障害に伴 同胞的介護を要する状態 同胞的介護を要する状態 日間の介護を要するまままままままままままままままままままままままままままままままままままま												25.	火回数		第	
TEMOとおり介護給付を請求します。								結束	年月	В						P-4
下記のとおり介護給付を請求します。 住、所 (年 月 日生) 1 扱力援助者 住、所 氏 名 (年 月 日生) 2 負傷又は発病の年月日 年 月 日 4 年金証明の番号 日 4 年金証明の番号 日 日 日 日 日 日 日 日 日	7	导森贝	具警察本部:	長殿				1413.3		,			_	/1		
1 協力推助者	١,	ren a	n I. do n Ad	ME 6A LL 7	est de t	hh-		住	所	,						1223
氏名 (年月日生) 2 負傷又は発病の年月日 年月日 3 受けている年金の種類 (帰宿給付年金(傷所等級 級第 号) 4 年金証明の審号 (原宿給付年金(傷所等級 級第 号) 5 隔离の配位及びその程度立びに当該障害に伴う日常生活の状態 6 介護を要する状態の区分 (局間・介護を要する状態) 7 請請求分象年月日 介護に要する費用 製蒸等から介護を 受けた場所 請求 月 額 東井 月 円 日 有 回 無 P 日 日 日 日 年 月 額 東井 月 日 日 年 月 日 日 年 月 日 日 年 月 日 日 年 月 日 日 年 月 日 日 年 月 日 日 年 月 日 日 日 日	\vdash			要桁刊 3	と調水し:			民	名							(1)
氏名 (年月日生) 2 負傷又は発病の年月日 年月日 3 受けている年金の種類 (帰宿給付年金(傷所等級 級第 号) 4 年金証明の審号 (原宿給付年金(傷所等級 級第 号) 5 隔离の配位及びその程度立びに当該障害に伴う日常生活の状態 6 介護を要する状態の区分 (局間・介護を要する状態) 7 請請求分象年月日 介護に要する費用 製蒸等から介護を 受けた場所 請求 月 額 東井 月 円 日 有 回 無 P 日 日 日 日 年 月 額 東井 月 日 日 年 月 日 日 年 月 日 日 年 月 日 日 年 月 日 日 年 月 日 日 年 月 日 日 年 月 日 日 日 日	1	経	り援助者 所													
3 受けている年金の種類 □ 傷術論付年金(協所等級 級第 号) □ 陽常語付年金(協所等級 級第 号) □ 陽常語付金(協所等級 級第 号) □ 陽常語付金(協所等級 級第 号) □ 陽常の部位及びたの程度並びに当該障害に伴 □ 日常生活の状態 □ 日常生活の状態 □ 日常を要する状態 □ 同時を要する状態 □ 同時の確定を要する状態 □ 同時の確定を要する状態 □ 日常を要する状態 □ 日本 □ 日 □ 日 □ 日 □ 日 □ 日 □ 日 □ 日 □ 日 □ 日		氏	名								(年	月	-	3生)
「協病給付年金(協病等級 級第 号) 第	2	負債	男又は発病	の年月日	3						4	F	月		日	
□ 障害給付年金(條所等級 級第 労) 5									4	年金	証明の	か番り	F			
5 随着の部位及びその程度並以に当該障害に伴う自常生活の状態 6 介護を要する状態の区分 常時介護を要する状態の国際を要する状態 開朗所介護を要する状態 開朗所介護を要する状態 として英田した観 受けた自の特無 年月 日 有 無 早月 日 日 有 無 日 年月 日 日 日 年月 日 日 年月 日 日 年月 日 年月 日 日 年月 日 年月 日 日 年月 日 日 年月 日 日 年月 日 年月 日 日 日 日												4	tir.			号
日常生活の状態	_	_					_	-	0	A am		_		T ()		7
□ 随時介護を要する状態 清					主度业い	こ当談院	単書い	二件	ь						ろ状態	æ
請求対象年月日 として実出した額 受けた日の存験 請求月 類 次内 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日																
F	7	4dt	ole to do do	н п	介護は	こ要す	る費	用	親族	等か	ら介証	蔓を	9.5	vite	н	\$15
8 介護を受けた場所 □ 自宅 □ 病院・施設等(名称: 入院(人所)期間 9 氏名 請求者との 接 表 が 介 護 を 受 け た 期 同 契族等 で介護 年 月 日~ 年 月 日 「で介護 年 月 日~ 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	請	pH .			として	(支出	した			_			PH	-11	71	HO.C
8 介護を受けた場所 □ 自宅 □ 病院・施設等(名称: 入院(人所)期間 9 氏名 請求者との 接 表 が 介 護 を 受 け た 期 同 契族等 で介護 年 月 日~ 年 月 日 「で介護 年 月 日~ 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	求内								_	.,						円
日宅 日宅 日宅 日宅 日宅 日宅 日宅 日宅								円		有		無				円
「	-			場所												
9 戦族等 氏 名 請求者との 被的又は関係 請求者が介護を受けた期間 年月日~年月E 年月日~年月E (従事した者) 年月日~年月日 10 介護給付請求金額 年月日~年月E			対院・施設		作:)					
Y X X X X X X X X X		- 7	、院 (入所)	期間	alaba da aba		F	月	H	~			年	月	-	3
中月 日~ 中月 日~ 年月 日 年月 日~ 年月 日 年月 日~ 年月 日 年月 日~ 年月 日 年月 日~ 年月 日 日本 日本 <td>_</td> <td></td> <td>氏</td> <td>名</td> <td>請求者</td> <td>よ関係</td> <td>86</td> <td>青水</td> <td>者</td> <td>75</td> <td>介護</td> <td>を</td> <td>受</td> <td>けた</td> <td>- 期</td> <td>開</td>	_		氏	名	請求者	よ関係	86	青水	者	75	介護	を	受	けた	- 期	開
T																日
Lc者 年 月 日~ 年 月 E 10 介護給付請求金額 年 月 E																H
10 介護給付請求金額										//						B
		13	# 65 / Lat -	is A dest			l	牛		Н	Ħ	~	24:	-	н	H
11 添付する書類その他																
の資料名				その他												
※受理	 #5		月			月	日	※ 3	払年	ļ	1	日	※決5	巨金額	Ħ	円

銀	行			银行		支店	預金	(個)	機関又は役 人名義の場 です。)	職の名称 合は記入	
 振	込み	口崔	の記 通預 座預	金	ゔ		立 名 義	小安			
送小	金 切 手			银行		支店	者		リガナ)		
そ	の他						名	氏《	Z		
 是理			※決					支払		※決定金額	
年	月	日	4	丰	月	日		年	月日		
	給	付	t	基		礎	1	Ą			
		基		1	Ħ		2	Ħ			
内				配		偶		者			
	扶	修弁	技		子			人			
訳	大	距形	2. 原		を期1 5子	間に		人			
				そ	O	他		人			
ŕ	合付基	滞額に	つい	ては、	上記	記のと:	おり札	目違ない	ハことを証	明します。	
		4	٤.,	Ħ	F						
								i	青森県警察	本部長 国	1

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。
- 至 氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
- 3 「5 障害の部位及びその程度」の欄の記入事項が添付された診断書の記載事 項と同じであるときは、「診断書の記載事項のとおり」と記入すること。
- 4 「6 既存障害とその程度」の欄には、新たに既存の障害の程度を加重した場 合に記入するものとし、既存障害について障害給付を支給された場合は、その該 当する障害等級を明記すること。
- 5 この請求書には、治癒の時期の決定及び障害等級の決定に必要な医師の診断書 その他の書類及び資料を添付すること。
- 6 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

5	遺加	 疾給付-	一時金	請求金	企額									円
6	添	すする種	計類そ	の他の	り資料	半名								
7 送金希望の場合	送小	行みの動物の他	口座	の記 ³ 通預3 座預3	银行 子番号		支店	TI.	預金名義者名	不要	機関派	をの場) 	職の名称合は記入	
	是理			※決					% 3				※決定金額	
	年	月	Ħ	4	F	月	F	1		年	月	日		円
		給	付		基		礎		16 17	A				円
*		1	Ē		2	Ĕ			15	A				円
	内				配		信	Ξ,		者				円
8						子				人				円
給		扶 ៛	€ 親	族		· E期I	間に			人				円
付	訳				ある		A la				-			
基					そ	0)	他			人	<u> </u>			円
礎	á	合付基础	世額に	つい	には、	上記	記のと	: *	5り‡	目違な	いこと	を証	明します。	
額の					_	_								
証			年	.)	1	Ħ								
明										青煮	- 県警	察本語	8長	

- 注1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。 [削る。]
- 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第5号(第5条関係)

遺族給付一時金請求書

						請求年	月日		年	月	H
	青森県警察な 次のとおり			を請求し	_ ま	(請求者 住所 氏名 協,持 協,	助者と	Ø.			
1	協力援助者住 所 氏 名	ř			<u></u>	(年	月	B	生)
2	負傷又は多	発病の年月 年		1 1	3	死亡年	F月日	年	Ē.	月	Ħ
4	受給権者氏	か 生年	月日	協力援助 の続柄! 係	か者と 又は関	(給基	付) 進額)	(倍数)	年金払	合された及び一時金の総計	前の
遺族給付						(×	-)
_						× -		者の数	_ =		円
時金請求	遺族給付	年金の受 た者の氏	給権 ² 名	者であっ	年金 番号	証書の	支給 (5 の都	合された 友給され 質)	生年金 ルた前	額の合 払一時	i計 i金
額の	年金が支 給されて										円
計算	いた場合										円
	60			計							円円
	総			PT.							Н

5	遺加		一時金	請求会	金額								円
6	添作	すする種	事類そ	の他の	の資料	冶							
7 送金希望の場合	送小	行み金手他	口座	の記 通預 座預	银行 号番号	支		預金名義者名	不要	人名義です。.	をの場)	職の名称合は記入	
	を理 年	月	F	※決 4	:定 手	月	日		支払 年	月	月	※決定金額	円
		給	付		基	礎		15 15	A				円
*		Ŧ	ž.		2#	Ė		15 17	Ą				円
8	内				配		偶		者				円
0		扶着	№ 親	族		子			人				円
給付	訳	200	~ 100	<i>M</i> .~	特定ある	2期間に 子			人				円
基基					そ	の他			人				円
一礎額の証	ź	合付基础	差額に 年		ては、	上記の 日	<u>ځ</u>	おり木	目違な!	いこと	を証	明します。	
明									青森	県警	察本部	第長 囙	

- 注1 請求者は、採印の欄には記入しないこと。 ② 氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。 ③ 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第5号(第5条関係)

		遺族	給 付 -	- 時	金 請	求 書				
					請求年	月日		年	月	日
	香森県警察な	本部長 殿 遺族給付一時金	≥を請求し	ま	(請求者 住所 氏名 協力援 続柄又	助者と	Ø.		-	0
1	協力援助者住 所 氏 名	K-			(年	月	F	生)
2	負傷又は多	発病の年月日 年 月	1 1	3	死亡年	三月日	年	.)	1	日
4	受給権者氏	音の 生年月日	協力援助 の続柄又 係	者とは関	(給 基面	付((倍数)	年金払一	さ及び会計	前の
遺					(×	_)
族給付一					× -	受給権	l 者の数)			円
時金請求		年金の受給権者 た者の氏名	者であっ	年金計番号	正書の		合された を給され 質)			
が額の	遺族給付 年金が支 給されて									円
計算	おされていた場合									円
										円
	総		#							円

	給	付	基	礎	額		μ
	基		準		額		Р
内			配	偶	者		Р
	AL W	det 44-	子		人		F
訳	扶養	親族	特定期間ある子	間に	人		F
п/			その	他	人		F
ŕ	合付基礎		ては、上ii 月 日	記のとお	り相違ない	いことを証明します。	

- 注1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。 [削る。]
- 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第6号(第5条関係)

葬 祭 給 付 請 求 書

							請	求	年月	日	年	月	日
=	z ote n	見警察2	Lover H	100.			(2	青求者	f)				
Е	F#R9	卡普 奈/	大師女	敗			住用	听					
							氏4	š					
ð	での。	とおり	幸祭給	付を請す	₹しま*	す。	ŧ	も力技 売柄ス	助者	との 係			
1	協力	り援助る	ř										
	住	所											
	氏	名						(年	三 月	F	生)
2	負債	写又は 多	発病の	年月日			3	死亡	年月	日			
				年	月	日					年	月	日
4	atta A	Pr 6A LLe	±-1> ^	det			1651	L th re	k skot \				
4	343	条給付 額	育水金	程 (A)				寸基礎		×30=	_		円
					合付基础				- 17	A 30 =			П
						吧 円×	60=						Щ
				(A) (B)の	うち .	56 □(A			□(E	2)		H
				高い	方のを	全額 5	_ (A	,		(I	,,		П
5			振込	先金融板 銀行		支店	預	(個	人名	義の場	と職の名 計合は記	称入	
送	銀	行	口座	の記号都	\$号		金	不要	きです	。)			
送金希望の	扱	込み	口普	通預金 座預金			名義						
五の場合	送	_ 金		銀行	Ť	支店	者	(>	リガ	ナ)			
合	_	切手の他		201		24/14	名	氏	名				
% 5		3	<u> </u>	※決定			* 3	を払			※決7	宇金額	
	年	月	日	年		日		年	月	日			円

		給		付		基	礎	額			円
*			基			2	Ė	額			円
6	内					配	fi	吳	者		円
給		de de	- 16	親	44-		子		人		円
付基	訳	扶	養	釈	族	特別ある	E期間に 5子		人		円
礎	D/C					そ	の他		人		円
額の	Ŕ	合付者	古礎智	質に~	ついっ	ては、	上記のと	とおり相対	産ない	いことを証明します。	
証明				年	J	1	Ħ				
23									7	青森県警察本部長 国	

- 注1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。
 2 氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4級長とする。

別記様式第6号(第5条関係)

葬 祭 給 付 請 求 書

			94	>354	NG 1	.1	₽Ħ	-11	- 2	•				
						請	求	年	月	日	年		月	日
	青森県警察ス 次のとおりす			 ∤しま	す。	住所氏名		援助	者関係	o o				•
1	協力援助者	¥				•								
	住 所 氏 名						(年	. 月		日生)
2	負傷又は死	発病の	年月日			3	死1	亡年	月日	1				
			年	月	日						年	月		日
4	葬祭給付許	青求金	:額			(給作	寸基(港額)					
			(A)	合付基金	円+ 滞額)				円×	30=				円
					円×	60=								円
				B)の 方の st		□(A)			□(B)			円
5 送金希望の場合	銀行振込み	口座	先金融株 銀行 の記号を 通預金 座預金	Ţ	支店	預金名義	(4	人機人で	名弟	の場	・職の名 ・合は記	称入		
の場合	送 金小切手		銀行	Ť	支店	者		フリ		-)				
	その他					名	氏	: 4	5					
	受理 年 月	B	※決定 年	月	B	* 3	5払 年	J	1	日	※決策	产金智		円

6 送金希望の場合	送小	行み 金手他	口座	先金融機 銀行 の記号番 通預金 座預金 銀行		支店	預金名義者名	不要	機関区域という。	の場	職の名称合は記入	
% 5	5理			※決定			* 3	赵払			※決定金額	
	年	月	日	年	月	日		年	月	日		円

年月日年月日年 注1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。 [削る。]

型 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第7号(第5条関係)

未支給の給付請求書

		請求年月日	年	月	日
	青森県警察本部長 殿 大のとおり未支給の給付を請求します。	(請求者) 住所 氏名 死亡した受給 権者との続柄			
1	協力援助者 住 所 氏 名	(年 月	日生)	
2	死亡した受給権者 氏 名	協力援助 締柄又は			
			月	日死亡)	
3	未支給の給付の種類	年金たる給付の年金証書の番号		<i>뭣</i> /	
4	未支給の給付の請求金額			ı	Ч
5	添付する書類その他の資料名				

6 送	銀振	行込み	口座	先金融機 銀行 の記号番		支店	預金	(個	、機関ス 人名記 です。	その場	職の名称合は記入	
送金希望の場	送	金手	口普口当	通預金 <u>座預金</u> 銀行		支店	名義者		リガナ	-)		
場合	そ	の他					名	氏	名			
% 3	是理			※決定			₩3	支払			※決定金額	
	年	月	日	年	月	日		年	月	日		円

- 注1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。
 ② 氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
 ③ 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第7号(第5条関係)

未支給の給付請求書

		請求	年月	F	年	月	Ħ
青森県警察本音	形長 殿 近給の給付を請求します。	(請求 住所 氏名 死亡	(者)	給柄			•
1 協力援助者							
住 所							
氏 名		(年	三 月	日生	.)
2 死亡した受給	権者						
氏 名							
			協力技 続柄ス				
		(年	月	日死亡	:)
3 未支給の給付	けの種類						
		年金た 年金証			:きは 第	号	.)
4 未支給の給作	†の請求金額						円
5 添付する書類	手 その他の資料名						

7 送	銀振		行み	口座	先金融機 銀行 の記号番		支店	預金	(個	機関3 人名記 です。	象の様	機の名称 合は記入		
送金希望の場合	送			口当	通預金 座預金			名義	(7	リガラ	F)			
場合	示 そ		金手 他		銀行		支店	者名	氏	名				
% 5	5理 年	月		В	※決定 年	月	В	% 3	支払 年	月	В	※決定金	額	Д
			_	н		7	н		_	71	н	添付書類		枚
											Į.			

		給	付		基	础	額		円
·-/			基		2	É	額		円
*	内				配	f	禺 者		円
8		dela s	Mr des	44-		子	人		円
紹付	訳	扶	熋 親	族	特別ある	E期間に 5子	人		円
遊婚	p/C				そ	の他	人		円
給付基礎額の証明	ŕ	合付基础	滞額に	つい	ては、	上記のと	おり相違ない	いことを証明します 。	
明			年	J	Ħ	日			
								青森県警察本部長	

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。該当する口にm
 u印を記入すること。 [削る。]
 - $\underline{2}$ 第2回以後の請求の場合における「3 請求日数」の欄の記入については、前回の請求後の分について記入すること。
 - 3 第2回以後の請求の場合において給付基礎額に変更のない場合は、給付基礎額の内訳及び証明については省略してもよい。
 - 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第8号(第5条関係)

休 業 給 付 請 求 書

							Г	請求回	7.94.	笙	П
_					28 4	文年 月			年	я ,	B
					6H 2	、 平 月	1 12		+	Я	F
Ť	寄森県警察本部	8長 月	砓		(請	求者)					
					住月	ŕ					
ĕ	欠のとおり休業	能給付	を請求し	ます。	氏名	5					
1	協力援助者										
	住 所										
	氏 名					(年	月	日生	()
2	負傷又は発病	の年	月日	年	月	日					
3	請求日数			年年	月月	日:	から	のうけ	5	B	
			(6NL)	基礎額)			日数				
4	請求金額の	計算	(Rell)	26年10年6月)	円×-60			=			円
5	休業給付請求	₹金額									Р
					1. 14.						
	傷病名			現在の	犬態 年	月					
*				口治ゆ	□死亡				E D	□継続中	
6	(請求日数のができなが	10/こ	と認めり	れつ 日報		こと)		127	らでき	差事する きなかっ	た
医		年	月	日からの 日まで	うち	B		しと言	200	られる理	由/
韴	上記のとお										
か		年	A	В							
Œ		4-	Я	P		所在	- 144				
明				病院又は	weeken o		_				
				州元又は	沙原所の					17	
						医師」	大名			Į.	

7 送金希望の場合	銀振送小そ	金	[[座	の記り 通預会 座預会	银行 号番号		支店	金名義		不要	人名家です。	髪の4)	投職の名利 場合は記力	*	
**	受理 年	月		Ħ	※決 #		月	F	*		ズ払 年	月	H	※決定 添付書類		円枚
		給		付		基		礎		物	Ħ					円
			基			ì	Ĕ			額	Ĩ.					円
*	内					配		偶			者					円
8		de de	-Mr	-011	44-		子				人					円
給付基礎額	訳	扶	養	親	族	特別ある	を期1	間に			人					円
碰	p/\					そ	Ø	他			人					円
観の証明	ń	给付基	礎智	質に・	ついて	には、	上記	記のと	おり	相	達な	いこと	こを記	正明します	r.	

- 注 1 請求者は、%印の欄には記入しないこと。該当する口に $\mathbf{\nu}$ 印を記入すること。
 - 至 氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
 - 3 第2回以後の請求の場合における「3 請求日数」の欄の記入については、前 回の請求後の分について記入すること。

青森県警察本部長 囯

- 4 第2回以後の請求の場合において給付基礎額に変更のない場合は、給付基礎額の内訳及び証明については省略してもよい。
- 5 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第8号(第5条関係)

休業給付請求書

請求回数 第 回 請求回数 第 回 請求回数 第 回 請求 年 月 日 年 月 日 日											
青森県警察本部長 殿								31	青求回数	第	
住所 氏名 日前 日前 日前 日前 日前 日前 日前 日					請习	と 年	月	日	年	月	Ħ
The image	1	青森県警察本部長	殿		(清	求者)				
1 協力援助者 住 所 氏 名					住用	F					
住 所 氏 名 (年 月 日生) 2 負傷又は発病の年月日 年 月 日 日までのうち 日 3 請求日数 年 月 日からのうち 日 日までのうち 日 4 請求金額の計算 (給付基礎額) 円× 60 円× 100 (日数) 円× 60 日本 円 5 休業給付請求金額 円 円 6 (請求日数のうち療養のため業務に従事すること) ができなかったと認められる日数 年 月 日からのうち 年 月 日からのうち 年 月 日からのうち 日 上記のとおりであると認めます。 (素務に従事すること) とができなかったと認められる理由 生 月 日までのうち 日 業務に従事すること とができなかったと認められる理由 と認められる理由 と認められる理由 日 5 (請求日数のうち療養のため業務に従事すること) ができなかったと認められる理由 年 月 日までのうち 日 日 日までのうち 日 日 日までのうち 日 日 日までのうち 日 日まのとおりであると認めます。 (本 地 病院又は診療所の 名 称	č	欠のとおり休業給付	を請求し	ます。	氏4	5					•
氏名 (年月日生) 2 負傷又は発病の年月日 年月日までのうち日 3 請求日数 年月日までのうち日 4 請求金額の計算 (給付基礎額) (日数) 5 休業給付請求金額 円 6 (請求日数のうち療養のため業務に従事すること)ができなかったと認められる日数年月日からのうち日数年月日からのうち日上記のとおりであると認めます。 (業務に従事することとができなかったと認められる日数年月日からのうち日本年月日からのうち日日本記をあったと認められる理由日本記をあったと認められる理由日本記を表し、 6 (請求日数のうち療養のため業務に従事すること)ができなかったと認められる理由日本記を表し、 (素務に従事することを表しかできなかったと認められる理由日本記を表し、 6 (請求日数のうち療養のため業務に従事すること)ができなかったと認められる理由日本記を表し、 (素務に従事することを表し、 6 (請求日数のうち療養のため業務に従事することとができなかったと認められる理由日本記を表し、 (本済できなかった を表し、 6 (請求日数のうち療養のため業務に従事することとができなかったと認められる理由日本記を表し、 (本済できなかった を表し、 6 (請求日数のうちなかった を表し、 (本済できなかった を表し、 6 (請求日数のうち療養のため業務に従事すること)のよりに表し、 (本済できなかった を表し、 7 (請求日数のうち療養のため業務に従事すること)のよりに表し、 (本済できなかった を表し、 8 (請求日数のうち療養のため業務に従事すること)のよりに表し、 (本済できなかった を表し、 9 (請求日数のうちを表し、 (本済できなかった を表し、 9 (前求日数のうちを表し、 (本済できなからなりません)のよりに表し、 9 (前求日本のよりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによ	1	協力援助者									
2 負傷又は発病の年月日 年 月 日 3 請求日数 年 月 日からのうち 日 4 請求金額の計算 (給付基礎額) (日数) 円× 60 × = 円 5 休業給付請求金額 円 円× 100 × = 円 5 休業給付請求金額 円 円× 100 × = 円 日からのうち 日 日本のからを表表に従事すること ができなかったと認められる日数 年 月 日からのうち 日 上記のとおりであると認めます。 日 所 在 地 病院又は診療所の 名 称		住 所									
3 請求日数 年 月 日からのうち 日 4 請求金額の計算 (給付基礎額) (日数) 円× 60 × = 円 5 休業給付請求金額 円 円 5 休業給付請求金額 円 円 日からのか ※ 所に従事すること ができなかったと認められる日数 年 月 日からのうち 日 上記のとおりであると認めます。 年 月 日からのうち 日 上記のとおりであると認めます。 年 月 日がらのうち 日 東 月 日がらのうち 日 東 月 日がらのうち 日 東 月 日がらのうち 日 日本でのうち 日 日本のとおりであると認めます。 日 所 在 地 病院又は診療所の 名 称		氏 名					(年	三 月	日生	:)
### 1 日までのうち 日 日までのうち 日 日までのうち 日 日までのうち 日 日本	2	負傷又は発病の年	月日	年	月	H					
4 請求金額の計算 円×60/100× = 円 5 休業給付請求金額 円 6 (請求日数のうち療養のため業務に従事すること) ができなかったと認められる日数 年 月 日からのうち 年 月 日からのうち 日 上記のとおりであると認めます。 (業務に従事すること) とができなかったと認められる理由 年 月 日からのうち 日 日までのうち 日 日までのうち 日 日までのうち 日 日までのうち 日 日 千 月 日 日 千 月 日 日 千 月 日 千 月 日 千 月 日 千 月 日 千 元 千 八 千 八 千 八 千 八 千 八 千 八 八 八 八 八 八 八	3	請求日数					日か日ま	50	ううち	Ħ	
円× 円 円 円 円 円 円 円 円 円			(給付	基礎額)			(日	数)			
### ### #############################	4	請求金額の計算	ĺ.		$H \times \frac{6}{10}$	0 00 ×			=		円
※ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	5	休業給付請求金額	ŧ								円
※		傷病名		現在の	犬態						
6 (請求日数のうち原義のため業務に従事すること) (業務に従事すること) (本さなかったと認められる日数 年 月 日からのうち 日 上記のとおりであると認めます。 日 所 在 地 病院又は診療所の 名 称											
「ができなかったと認められる日数								L]中止	□継続中	
# 月 日までのうち 日 上記のとおりであると認めます。 年 月 日 所 在 地 病院又は診療所の 名 称	-	(請求日数のうち	療養のたる	め業務に行 ロスロ粉	逆事する	こと)		業務に	従事する	Z \
上記のとおりであると認めます。 毎 月 日 所 在 地 病院又は診療所の 名 称	医				うち	В			と認め	られる理	国/
の 証 年 月 日 所 在 地 病院又は診療所の 名 称	師				, ,	H					
亜 所 在 地 病院又は診療所の 名 称	Ø							_			
明 病院又は診療所の 名 称	証	4-	Я	д		部	źr -	HH			
1	明			実際マけ1	後春所の			_			
			,	13/2/2/14	<i>> ∞</i> ,					[•

別記様式第10号(第7条関係)

傷病給付年金請求書

		※年金	主証値	10番号	第	号
	請求	年月	Ħ	年	月	H
青森県警察本部長 殿	(請习	(者)				
次のとおり傷病給付年金の支給の決定を	住所					
請求します。	氏名				į	<u>.</u>
1 協力援助者						
住 所						
氏 名		(£	手 月	日4	生)
2 負傷又は発病の年月日						
年 月	B					
3 傷病等級	4 傷症	5等級診	6当年	F月日		
第 級				年	月	Ħ
5 傷病の名称、部位及びその状態						
6 既存障害の部位及びその程度						
7 日常生活の状態						
8 傷病給付年金請求金額						
(給付基G	遊額)		(倍数	友)		
		円×		=	円	
9 添付する書類その他の資料名						_

別記様式第9号(第5条、第7条関係)

給 付 決 定 通 知 書

通	知年	月日			年	月	H	通	知	番	号			ĝ	Ř	号
(1	請求者)															
住	所															
氏	名						殿				青	森県	警察	本部上	ŧ	
3	欠のとお	り給	付を	決定	した	ので通	知し									
ま	f .															
紿	付	の	内	容	決	定	額	紿	付	0)	内	容	決	定	額
療	養	ŕ	À	付			円	葬	3	奈	ŕ	Ď.	付			円
傷	病 給	付	年	金			円	障一	害給	付服		金 差	額金			円
障	害給	付	年	金			円	障	害給	付	年	金前	払			円
障	害給	付 -	一時	金			円	_		B			金			П
介	護	ŕ	습	付			円	遺一	族給	付服	年	金前	払金			円
遺	族 給	付	年	金			円	未	支	給	O	給	付			円
遺	族給	付 -	一時	金			円	休	3	鞍	ŕ	À	付			円
	合		計													円
備	考															
<u> </u>	田気の						-									

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第10号(第7条関係)

傷病給付年金請求書

		※年金	全証	許の番号	第	무
	請求	年月	H	年	月	日
青森県警察本部長 殿	(請:	求者)				
次のとおり傷病給付年金の支給の決定を	住所	ŕ				
請求します。	氏名				- (0
1 協力援助者	1					
住 所						
氏 名		(4	戶 月	日生	Ξ)
2 負傷又は発病の年月日						
年 月	日					
3 傷病等級	4 傷	病等級 調	亥当年	F月日		
第 級				年	月	日
5 傷病の名称、部位及びその状態						
6 既存障害の部位及びその程度						
7 日常生活の状態						
8 傷病給付年金請求金額						
(給付基码	礎額)			友) =	Д	
		111		_	P3	
9 添付する書類その他の資料名						

別記様式第9号(第5条、第7条関係)

給付決定通知書

	7943					AH	757					
通知年月日	年	月	H	通	知	番	号				第	号
(請求者)												
住 所 氏 名			殿				青彩	条県	警察	本部	長回]
次のとおり給付を決 ます。	定した	上ので追	重知し									
給付の内容	字 決	定	額	紿	付	σ) P	h	容	決	定	額
療 養 給 亻	寸		円	葬	4	Ž.	給		付			円
傷病給付年金	全		円	障	害給	付時	年金	差	額金			円
障害給付年金	全		円	障	害給	付	年金	前				円
障害給付一時会	全		円	_		時			金			1.3
介 護 給 亻	寸		円	遺一	族給	付時	年金	E HII	払金			円
遺族給付年金	全		円	未	支	給	Ø	給	付			円
遺族給付一時金	È		円	休	3	ř.	紿		付			円
合 計												円
備考												

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第11号(第7条関係)

障害給付年金請求書

W D W 11 4	717 11	4 -1	-			
		※年	全証書	の番号	第	号
	請求	年 月	F	年	月	日
青森県警察本部長 殿	(2表	求者)				
次のとおり障害給付年金の支給の決定を						
状のとわり陣告标刊平金の又結の状定を 請求します。	氏名				ī	
胡水します。	14	1			į	
1 協力援助者						
住 所						
氏 名		(年	月	日:	生)
2 負傷又は発病の年月日		hat be	2 0			
2 貝勝又は発病の平月日 年 月 日	3	治癒年	1 11	tu:	月	п
4 月 日				**-	Я	Р
4 障害等級				1	將	級
5 障害の部位及びその程度						
6 既存障害とその程度						
7 障害給付年金請求金額						
(給付基礎額)		(倍数)				
	円×		=		円	
8 添付する書類その他の資料名						

10 送	銀炬	行込み	口座	の記号	银行 号番:		支店	1	預金:	法人(個)不要	人名	幾の場	職の名称 合は記入		
金希	104	20 07	日書	通預金	È				名						
送金希望の	送	金			银行		支店	- 11	義 者	(フ	リガ	ナ)			
場合	小そ	切手の他			2013		~/		名	氏	名				
\vdash		07 IE						+							
	受理			※決					X 3				※決定金	額	
	年	月	日	4	F	月	H	1		年	月	H			円
		給	付		基		礁		着	Ħ					円
*		1	Ē.		ì	Ĕ			*	Ħ					円
11	内				配		佴	Ę		者					円
				16.		子				人					円
給付基礎額	訳	扶 犭	能 親	族	特別ある	を期1 5子	間に			人					円
礎姻	m/C				そ	の	他			人					円
の証明		給付基础					記のと	:お	りす	国違な	いこ	とを証	明します。		
			年	.)	3	F					青	条県警	察本部長]_

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。
 - [削る。]
 - 2 「5 傷病の名称、部位及びその状態」の欄の記入事項が添付された診断者の 記載事項と同じであるときは、「診断書の記載事項のとおり」と記入すること。
 - 3 この請求書には、傷病等級の決定に必要な医師の診断書その他の書類及び資料を添付すること。
 - 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第11号(第7条関係)

障害給付年金請求書

			※年4	全証書	の番号	第	무
		請求	年月	日	年	月	日
F	青森県警察本部長 殿	(請す	(者)				
3	大のとおり障害給付年金の支給の決定を	住所					
請习	 	氏名					•
1	協力援助者						
	住 所						
	氏 名		(年	月	日台	生)
2	負傷又は発病の年月日	3 1	台癒年丿	11			
	年 月 日				年	月	日
4	障害等級				9	第	級
5	障害の部位及びその程度						
6	既存障害とその程度						
7	障害給付年金請求金額						
	(給付基礎額)	(倍数)				
		円×	-	=		円	
8	添付する書類その他の資料名						

			年	.)	9	B				青葙	条県警	察本部長	I
の証明	á	给付基础					記のと	おり	旧違な	いこと	とを証	明します。	
礎額	W .				そ	Ø	他		人				円
給付基礎額	訳	1/ 1	e 190	欣		E期N 5子	間に		人				円
		扶着	針 親	族		子			人				円
11	内				弱		俳		者				円
*		1	ŧ		2	Ĕ		1	A				円
		給	付		基		礎	1	A				円
	年	月	日	4	F	月	Ħ		年	月	日		円
% 3	受理			※決	定			* 3	支払			※決定金額	į
合	そ	の他						名	氏	名			
本の場	送小	金切手		£	银行		支店	者		リガラ)		
送金希望の場合		-	口当	通預会 座預会	· 全 全			名義					
送		込み		の記号		<u>-</u>		金	不要	です。)	LI TIKALO Y	
10	銀	行	振込	先金融	独機的 银行	8名	支店	預	法人	機関こ	又は役	職の名称合は記入	

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。
 - 2 氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
 - 3 「5 傷病の名称、部位及びその状態」の欄の記入事項が添付された診断書の 記載事項と同じであるときは、「診断書の記載事項のとおり」と記入すること。
 - 4 この請求書には、傷病等級の決定に必要な医師の診断書その他の書類及び資料 を添付すること。
 - 5 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第12号(第7条関係)

遺族給付年金請求書

	- AL	NO 11 4		.,			
				※年金証	書の番号	第	뮷
			請求	年月日	年	月	П
青森県警察本部士	を殿		(請习	常となって	去者)		
			住所				
次のとおり遺族総	合付年金の支給	台の決定を	氏名			1	
請求します。			協力	援助者との)締柄	i_	
1 協力援助者			1807 0	2007110	174117		
1 協力援助者 住 所							
氏 名				(:	年 月	日生	.)
a de deserva a martin	- te n n		0 777				.,
2 負傷又は発病の	9年月日 年 月	1 В	3 死亡	二年月日	年	月	В
	4 /	1 1			+-	Я	Р
4 請求の事由	□協力援助 者の死亡	の失	位者 :権	口胎児で た子の	あっ [出生	□先順位 所在不	者の明
	氏 名	生月日	住	所	協力援助	有 備	李
5 請求者及び遺							
族給付年金を受							
けることができ る遺族							
-	氏 名	生 年	住	所	協力援助	力者 備	考
	八 名	月 自	注	PT	との続札	列	-5
6 既に遺族給付		-					
年金を受けてい た遺族							
/CAEAX							

9 送金希望の場合	送小	行み 金手他	口座	の記 通預 座預	银行 号番号		支店	預金名義者名	不要	(名)です。	幾の場)	職の名称合は記入	F	
* 5	受理			※決	定			*3	支払			※決定	金額	
	年	月	日	4	F	月	日		年	月	日			円
		給	付		基		礎	2	A					円
*		1	Ē		1	Ë		1	Ħ					円
	内				配		偶		者					円
10			de dans	44		子			人					円
給	en e	扶 1	変 親	族		を期1 5子	間に		人					円
付	訳				そ	の	他		人					円
基礎額の証明	ń	给付基础	差額に			日	記のと	おり				明します	[]	

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。 [削る。]
 - 2 「5 障害の部位及びその程度」の欄の記入事項が添付された診断書の記載事 項と同じであるときは、「診断書の記載事項のとおり」と記入すること。
 - 3 「6 既存障害とその程度」の欄には、新たに既存の障害の程度を加重した場 ── 合に記入するものとし、既存障害について障害給付を支給された場合は、その該 当する障害等級を明記すること。
 - 4 この請求書には、治癒の時期の決定及び障害等級の決定に必要な医師の診断書 その他の書類及び資料を添付すること。
 - 5 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第12号(第7条関係)

遺族給付年金請求書

				※年金訂	[書の番号	第	号
			請求	年月日	年	月	H
青森県警察本部長	と 殿		(請求	と者又は代	(表者)		
			住所				
次のとおり遺族総	合付年金の支給	の決定を	氏名			ľ	•
請求します。			協力	援助者と	の続柄		
1 協力援助者			-				
住 所							
氏 名				(年 月	日 4	<u>ŧ</u>)
2 負傷又は発病の	0年月日		3 死亡	1年月日			
	年 月	日			年	月	H
4 請求の事由	□協力援助 者の死亡	口先順の失		口胎児で た子の	*あっ [出生	コ先順位 所在2	
	氏 名	生月日	住	所	協力援助	1	崩 考
5 請求者及び遺							
族給付年金を受 けることができ							
る遺族							
	氏 名	生月日	住	所	協力援助	有 作	帯 考
6 既に遺族給付							
年金を受けてい							
た遺族							

9 送金希望の場合	送小	行み金手他	口座	の記 通預 座預	银行 号番号		支店	預金名義者名	(個)	人名事です。	髪の場)	職の名称合は記入	
**	受理年	月	В	※決	定 E	月	В		支払 年	月	В	※決定金額	Е
	i T	給	付		基	74	碰	1	Æ	<i></i>			Е
*			£		_	Ĕ		_	A				Е
	内				配		偶		者				р
10			d. 400			子			人				р
給	訳	扶 1	能 親	族	特別ある	と期間 3子	間に		人				Р
付	p/C				そ	Ø	他		人				р
基礎額	Ř	合付基础					記のと	おり札	1達ない	へこと	とを証	明します。	
額の証明			年		1	F			Ī	野森リ	県警察	本部長 国]

- 2 氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
- 3 「5 障害の部位及びその程度」の欄の記入事項が添付された診断書の記載事項と同じであるときは、「診断書の記載事項のとおり」と記入すること。
- 4 「6 既存障害とその程度」の欄には、新たに既存の障害の程度を加重した場 合に記入するものとし、既存障害について障害給付を支給された場合は、その該 当する障害等級を明記すること。
- 5 この請求書には、治癒の時期の決定及び障害等級の決定に必要な医師の診断書 -その他の書類及び資料を添付すること。
- 6 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第14号(第8条関係)

年金受給金融機関届出書

十 並 文 桐 並 mx	
青森県警察本部長 殿	届出年月日 年 月 日 ※ 年金証書の番号 第 号
傷病 障害給付年金を次において受け取りたい 遺族 ので届け出いたします。	(受給權者又は代表者) 住所 氏名
銀 行 振込先金融機関名 製作 支店 回座の記号番号 □ 普通預金 □当座預金 送 中 その他 その他	預 法人機関又は役職の名称 (個人名義の場合は記入 不要です。) 名 (フリガナ) 名 氏 名
備考	
※ 届出受理年月日	年 月 日

- 注1 金融機関を届け出る場合には、あらかじめ給付を実施する者に相談のうえ届け出 ること。
- 2 届出者は、※印の欄は記入しないこと。 [削る。]
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

7 遺族給付年金												
8 遺族給付年金 請求額	1	Page 19			(給作	寸基礎額)				× (円
「大変者を遊任した 「イの請求金額」	8	遺加	 英給付 年	三金	合义的	1代表者?	の場を選					円
## 2	î	青求智	A		代表 [‡] 場合	省を選任!	した	(70	D請求会	全額) (の数)	円
※ 基 準 額 円 が付え 様 基 単 円 が付え 様 基 単 円 特定期間に 人 円 かる子 人 円 特定期間に 人 円 お付え 世 円 円 お付え 単 日 円 お付え 単 日 日 日 お付え 単 日 日 日 日 お付え 単 日 日 日 日 日 お付え 日	9	添付	寸する書	M類そ	の他の	り資料名						
R			給	付	t	基	礎	省	Ħ			円
R	*		麦	ţ		準		省	Ħ			円
株	10	rta				配	作	Ę	者			円
新付基礎額については、上記のとおり相違ないことを証明します。	給付	Ρħ				子			人			円
新付基礎額については、上記のとおり相違ないことを証明します。	基礎	訳	扶多	色 耕	族	特定期間	間に		人			円
 総付基礎額については、上記のとおり相違ないことを証明します。 年月日	額の					その	他		人			円
# 月 日 青森県警察本部長	äŒ.	Ŕ	合付基础	と を額に	こついて	では、上記	記のと	:おり柞	目違な!	7.5	とを証明します。	
## 行	191										青森県警察本部長	
を		銀	行		\$	艮行	支足		(個)	人名	義の場合は記入	
合 その他 ※受理 ※決定 ※決定金額	送金	振	込み					_	小安	Ç9	。)	
合 その他 ※受理 ※決定 ※決定金額	希望	136			座預会	È			·			
合 その他 ※受理 ※決定 ※決定金額	の場	送小	金 切 手		£	限行	支尼				ナ)	
	合	そ	の他					名	比	名		
	% 5	理				※決定					※決定金額	
年 月 日 年 月 日 円			年	月	H		4	羊 .	月	日		円

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。該当する口に上印を記入すること。
 - 1 請求者は、祭印の欄には記入しないこと。該当する口によ印を記入すること。 [前23]

 「5 請求者及び遺族給付年金を受けることができる遺族」の欄の備考には、 その者が請求者であるときは⑩、その者が代表者であるときはゆ、その者が身 若しくは特神にて級以しの障害等級の確定に該当する程度の障害がある状態又は 負傷者しくは疾病が治らないで、身体の機能者しくは精神に軽易な労務以外の労 務に限することができない程度以上の故障がある状態にある者であるときは⑩、 また、その者が請求者と生計を同じくしているときは⑪、と明記すること。 3 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 縦長とする。

別記様式第14号(第8条関係)

在 A 严 A A A A A A B E E H B

年金受給金融	機関届出書
	届出年月日 年 月 日
青森県警察本部長 殿	※ 年金証書の番号 第 号
傷病 障害給付年金を次において受け取りたい 遺族 ので届け出いたします。	(受給権者又は代表者) 住所 氏名 (②)
類 行 接込先金融機関名 実店	預 法人機関又は役職の名称 (個人名義の場合は記入 不要です。) 名 義 (フリガナ) 名 名 氏
備考	1
※ 届出受理年月日	年 月 日

- 注1 金融機関を届け出る場合には、あらかじめ給付を実施する者に相談のうえ届け出 ること。
- 2 届出者は、※印の欄は記入しないこと。
- <u>3</u> 届出者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
- 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

_	andra d			(44	付基礎	Mat \	_	(倍:	R6- \			
7		集給付金 手額の		(##1	小基礎	明)	×	UH:		<-	1 (請求者の数) =	円
8	遺症		年金	合文	者が一 は代表 ない場	者を滞						F
i				代表場合	者を選	任した	(7	の	請求金	全都	i) (請求者) × (請求者) × =	
9	添作	寸する	書類と	その他の	の資料	名						
		給	f	寸	基	礎		額				- 1
*			基		準			額				
10	内				配	1	偶		者			
給付		data 1	Mr 4	99 44-		子			人			
給付基礎	訳	扶	能岩	見族	特定ある	期間に 子			人			
額の					そり	の他			人			
証明	Ŕ	合付基础					とおり	相	産ない	1	とを証明します。	
,,			4	F.	月	Ħ					青森県警察本部長	1
11	銀	行		5	融機関: 限行	名 支		- 11	(個)	(2	又は役職の名称 義の場合は記入	
送金希	振	込み			号番号		金名	1	不要で	きす	·°)	
希姆				普通預 当座預	並 金		2 義	H				
三望の場	送小	金 切 手		ś	限行	支			(フリ		(ナ)	
合	そ	の他					名		氏	名		
*	受理				% ∂						※決定金額	
		年	月	E	3		年	月		H		-

別記様式第16号(第9条関係)

(1)

協力援助者 青森県警察本部 別記様式第15号(第8条関係)

年金受給金融機関変更届出書

					届	出:	年月日	年	: 月	日
青森県警察本部	長 殿				年金	全証	書の番号	第		号
遺族	障害給付年金の受け取りを次のとおり変							表者)		
変	更	前	ī			9	E	更	後	
(金融機関名)					銀	行	振込先金	銀行	Ä	支店
					振	込み	口座の記 □普通預		口当月	T THE A
					送小	金加手	口自地顶	銀行		支店
				銀行		り他				
				本止	預金名	法(作不明	人機関又は 固人名義の 要です。)	役職の4 場合は記	名称 記入	
				本店支	義者名	(: 氏	フリガナ) 名			
備考										
※ 届 出	受 理	年 月	日					年	月	F

- 注 1 届出者は、※印の欄には記入しないこと。
 - [削る。]
 - 2 金融機関を変更する場合には、あらかじめ実施機関に相談の上届け出ること。 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4級長とする。

別記様式第16号(第9条関係)

(1)

号 協力援助者 年 金 証 書 青森県警察本部

別記様式第15号 (第8条関係)

年金受給金融機関変更届出書

		业义》	3 35 MR 198	100 04	人但	тын			
				届	出生	年月日	年	: 月	H
青森県警察本語	邻長 殿			年会	全証:	書の番号	第		号
傷病 障害給付年金の 遺族 更したいので届り			とおり変		所	権者又は代	表者)		0
変	更	前			3	E	更	後	
(金融機関名)				銀	行	振込先金	融機関名 銀行	Z	支尼
			振込		口座の記	号番号			
				100.0	207-	□普通預	金	□当座	預金
				送小七	金川手		銀行		支后
			銀行	その)他				
			本.	預金名	(4)	人機関又は 固人名義の 要です。)	役職の名 場合は記	名称 記入	
			本 支	4.0	(5	フリガナ)			
				者名	氏	名			
備考									
				Т					

受給権者の住所

(2)

- 1 この証書は、警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律によっ て、傷病給付年金、障害給付年金又は遺族給付年金の支給を受ける権利を有する ことを証明する書類ですから大切に保管してください。
- この給付は、毎年2月、4月、6月、8月、10月及び12月に、それぞれの前月
- なお、損害賠償を受けた場合は、その限度で年金が支払われないことがありま
- 3 次の場合に該当することとなったときは、速やかにその事実を証明する書類を 添えてその旨を実施機関に届け出るとともに、併せてこの証書を提出してくださ
- (1) 氏名又は住所を変更した場合
- (2) 傷病給付年金においては、その傷病等級に変更のあった場合 (3) 障害給付年金においては、その障害等級に変更のあった場合

- (4) 遺族給付年金においては、次に掲げる場合 ア 年金の算定の基礎となる遺族の数に増減を生じた場合(子、孫又は兄弟姉 妹が18歳に達する日以後の最初の3月31日が終了したためこの年金を受ける ことができる遺族でなくなった場合を除く。)
- イ 年金を受けることができる遺族が55歳未満の妻だけであるときは、身体若 しくは精神に7級以上の障害等級の障害に該当する程度の障害がある状態又 は負傷若しくは疾病が治らないで、身体の機能若しくは精神に軽易な労務以 外の労務に服することができない程度以上の故障がある状態になった場合又 はその状態でなくなった場合(障害の程度については、実施機関に相談して ください.)
- この給付を受ける権利は、譲り渡したり、担保(国民生活金融公庫又は沖縄振 興開発金融公庫に供する担保の場合は除く。)に供したりすることはできません。また、差押えを受けることもありません。
- この証書を亡失したり損傷したりするときは、実施機関に再交付を請求してく ださい。また、年金の額の変更の場合を除き、証書の記載事項に変更を生じた場 合は、この証書と引換えに新しい証書を交付します。

受給権者の氏名 月 日生) 年金の種類 (第 級) 年金の額 円 支給開始年月 警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律の規定により上記のとお

年 月 日

青森県警察本部長

注 意 事 項

- この証書は、警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律によっ て、傷病給付年金、障害給付年金又は遺族給付年金の支給を受ける権利を有する ことを証明する書類ですから大切に保管してください。
- この給付は、毎年2月、4月、6月、8月、10月及び12月に、それぞれの前月 なお、損害賠償を受けた場合は、その限度で年金が支払われないことがありま
- 3 次の場合に該当することとなったときは、速やかにその事実を証明する書類を 添えてその旨を実施機関に届け出るとともに、併せてこの証書を提出してくださ
- (1) 氏名又は住所を変更した場合
- (2) 傷病給付年金においては、その傷病等級に変更のあった場合 (3) 障害給付年金においては、その障害等級に変更のあった場合
- (4) 遺族給付年金においては、次に掲げる場合
- 年金の算定の基礎となる遺族の数に増減を生じた場合(子、孫又は兄弟姉 妹が18歳に達する日以後の最初の3月31日が終了したためこの年金を受けることができる遺族でなくなった場合を除く。)
- イ 年金を受けることができる遺族が55歳未満の妻だけであるときは、身体若 しくは精神に7級以上の障害等級の障害に該当する程度の障害がある状態又 は負傷若しくは疾病が治らないで、身体の機能若しくは精神に軽易な労務以 外の労務に服することができない程度以上の故障がある状態になった場合又 はその状態でなくなった場合(障害の程度については、実施機関に相談して ください。)
- この給付を受ける権利は、譲り渡したり、担保(国民生活金融公庫又は沖縄振 興開発金融公庫に供する担保の場合は除く。) に供したりすることはできませ ん。また、差押えを受けることもありません。
- この証書を亡失したり損傷したりするときは、実施機関に再交付を請求してく ださい。また、年金の額の変更の場合を除き、証書の記載事項に変更を生じた場 合は、この証書と引換えに新しい証書を交付します。

受給権者の住所

受給権者の氏名

月 日生)

年金の種類

(第 級)

年 金 の 額

円

支給開始年月

警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律の規定により上記のとお り支給します。

月

青森県警察本部長 囙

別記様式第17号 (第9条関係)

協力援助者年金証書交付簿

						7	
年金証書 の 番 号	認 定 年月日	年金の 種 類	支給開 始年月	受給権者の 住所・氏名 生 年 月 日	協力援助者 めの は 関係	交 付 年月日	取扱者

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

- 6 あらかじめ、実施機関からその必要がないと通知された場合を除き、毎年2月 1日から同月末日までの間に、実施機関に療養若しくは障害の現状又は遺族の現状に関する報告書を提出してください。
- この年金を受ける権利を失った場合は、この証書を実施機関に返納してくださ い。年金を受ける権利を失う場合は、次のいずれかに該当した場合です。
- (1) 傷病給付年金の場合
- 受給権者が死亡した場合
- 病状が好転し年金を受けられない程度の障害の状態になった場合 (障害の 状態については、実施機関に相談してください。)
- (2) 障害給付年金の場合
- ア 受給権者が死亡した場合
- イ 障害が直り、又は年金を受けられない程度の障害に回復した場合(障害の 程度については、実施機関に相談してください。)
- 遺族給付年金の場合
- ア 受給権者が死亡した場合
- 受給権者が婚姻(届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある 場合を含む。) をした場合
- 直系血族又は直系姻族以外の者の養子(届出をしていないが事実上養子縁
- 組関係と同様の事情にある者を含む。)となった場合 エ 離縁によって死亡した協力援助者との親族関係が終了した場合
- オ 受給権者が死亡した協力援助者の子、孫又は兄弟姉妹であるときはその者 が18歳に達する日以後の最初の3月31日が終了した場合(その者が協力援助 者の死亡の時から引き続き身体若しくは精神に7級以上の障害等級の障害に 該当する程度の障害がある状態又は負傷若しくは疾病が治らないで、身体の 機能若しくは精神に軽易な労務以外の労務に服することができない程度以上 の故障がある状態にあるときを除く。)
- カ 身体若しくは精神に7級以上の障害等級の障害に該当する程度の障害がある状態又は負傷若しくは疾病が治らないで、身体の機能若しくは精神に軽易 な労務以外の労務に服することができない程度以上の故障がある状態にある ことにより受給権者となっている者がその状態でなくなった場合
- 8 実施機関への届出、提出、請求等は下記の担当部署あてに行ってください。

₹030-0801

青森県青森市新町二丁目3番1号 青森県警察本部総務室原生課 電話 017 (723) 4211

注 用紙の大きさは、日本産業規格B6縦長とする。

別記様式第17号 (第9条関係)

協力援助者年金証書交付簿

						=	
年金証書 の 番 号	認 定 年月日	年金の 種 類	支給開 始年月	受給権者の 住所・氏名 生 年 月 日	協力援助者 と の は 関 係	交 付 年月日	
						,	

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

6 あらかじめ、実施機関からその必要がないと通知された場合を除き、毎年2月 1日から同月末日までの間に、実施機関に療養若しくは障害の現状又は遺族の現 状に関する報告書を提出してください。

- この年金を受ける権利を失った場合は、この証書を実施機関に返納してくださ 。年金を受ける権利を失う場合は、次のいずれかに該当した場合です。
- (1) 傷病給付年金の場合
- ア 受給権者が死亡した場合
- イ 病状が好転し年金を受けられない程度の障害の状態になった場合 (障害の 状態については、実施機関に相談してください。)
- (2) 障害給付年金の場合
- 受給権者が死亡した場合
- 障害が直り、又は年金を受けられない程度の障害に回復した場合 (障害の 程度については、実施機関に相談してください。)
- (3) 遺族給付年金の場合
- ア 受給権者が死亡した場合
- イ 受給権者が婚姻(届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある 場合を含む。) をした場合
- 直系血族又は直系姻族以外の者の養子(届出をしていないが事実上養子縁 組関係と同様の事情にある者を含む。)となった場合 エ 離縁によって死亡した協力援助者との親族関係が終了した場合
- オ 受給権者が死亡した協力援助者の子、孫又は兄弟姉妹であるときはその者 が18歳に達する日以後の最初の3月31日が終了した場合(その者が協力援助 者の死亡の時から引き続き身体若しくは精神に7級以上の障害等級の障害に 該当する程度の障害がある状態又は負傷若しくは疾病が治らないで、身体の 機能若しくは精神に軽易な労務以外の労務に服することができない程度以上 の故障がある状態にあるときを除く。)
- カ 身体若しくは精神に 7級以上の障害等級の障害に該当する程度の障害がある状態又は負傷若しくは疾病が治らないで、身体の機能若しくは精神に軽易 な労務以外の労務に服することができない程度以上の故障がある状態にある ことにより受給権者となっている者がその状態でなくなった場合
- 8 実施機関への届出、提出、請求等は下記の担当部署あてに行ってください。

₹030-0801

青森県青森市新町二丁目3番1号 青森県警察本部総務室厚生課 電話 017 (723) 4211

注 用紙の大きさは、日本産業規格B6縦長とする。

別記様式第19号(第10条関係)

傷病給付変更請求書

		請求	年丿	日	年	J	月日
青森県警察本部長 殿	ĺ	年金訂	E書の	番号	第		뮷
		(請求	(者)				
次のとおり傷病給付の変更を請求	しま	住所					
す。		氏名					
1 現在受けている傷病給付年金の傷	病等級	Ę.			第		級
2 現在受けている傷病給付年金の支	給が開	開始され	1た年	月			
						年	月
3 障害の程度に変更があった年月日					年	月	Ħ
4 傷病の名称、部位及びその状態							
5 変更後の傷病等級					第		級
6 添付する書類その他の資料名							
※受理 ※決定				※決)	定等級		
年 月 日 年	E J	月	日		第		級

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと
 - [削る。]

 2 「4 傷病の名称、部位及びその状態」の欄の記入事項が添付された診断書の記載事項と同じであるときは、「診断書の記載事項のとおり」と記入すること。
 - 3 この請求書には、障害の程度に変更があった時期の決定及び変更後の傷病等級の決定に必要な医師の診断書その他の書類及び資料を訴付すること。
 - 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第18号(第9条関係)

協力援助者年金証書再交付請求書

青森県警察本部長 胴	žb-			請求年月日		年	月 日
次の年金証書を亡失 状の年金証書を損傷 求します。		で再交	付を請	(請求者) 住所 氏名			
1 年金証書の番号					第		号
2 証書交付年月日					年	月	Ħ
3 受給権者の氏名							
4 傷 病 等 級					第		級
傷病 5 障害給付年金の額 遺族							円
※受理	年	月	FI	※再交付	年	月	FI

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。 [削る。]
 - 2 この請求書には、年金証書の亡失の理由を明らかにすることのできる書類又は 損傷した年金証書を添付すること。
 - 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第19号(第10条関係)

傷病給付変更請求書

100	773 NSI 13 24.	人明小				
		請求年	月日	年	月	H
青森県警察本部長 殿		年金証書	の番号	第		号
		(請求者))			
次のとおり傷病給付の変	更を請求しま	住所				
す。		氏名				•
1 現在受けている傷病給付	年金の傷病等	級		第		級
2 現在受けている傷病給付	年金の支給が	開始された	年月			
					年	月
3 障害の程度に変更があっ	た年月日			年	月	F
4 傷病の名称、部位及びそ	の状態					
5 変更後の傷病等級				第		級
6 添付する書類その他の資	料名					
※受理	※決定		※決	定等級		
年 月 日	年	月 日		第		級

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと
 - <u>2</u> 氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
 - 3 「4 傷病の名称、部位及びその状態」の欄の記入事項が添付された診断書の 記載事項と同じであるときは、「診断書の記載事項のとおり」と記入すること。
 - 4 この請求書には、障害の程度に変更があった時期の決定及び変更後の傷病等級の決定に必要な医師の診断書その他の書類及び資料を添付すること。
 - 5 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第18号(第9条関係)

協力援助者年金証書再交付請求書

助力援助有平立。			
青森県警察本部長 殿	請求年月日	年	月 日
次の年金証書を ^{亡失} したので再交付を記 求します。	(請求者) 住所 氏名		(1)
1 年金証書の番号		第	号
2 証書交付年月日		年	月日
3 受給権者の氏名			
4 傷 病 等 級		第	級
傷病 5 障害給付年金の額 遺族			円
※受理	※再交付		
年 月 日		年	月 日

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。
 - 2 氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
 - 3 この請求書には、年金証書の亡失の理由を明らかにすることのできる書類又は 損傷した年金証書を添付すること。
 - 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第21号 (第10条関係)

傷病給付変更決定通知書

通知年月日	年	月	E F	重 知	番号	25	等 号
住所							
氏名			殿		青森県	書祭本部上	ŧ []]
次のとおり傷症	帰給付の変す	更の決定:	をした				
ので通知します。							
変	更	後			変	更	前
傷病等級	第		級	傷病等	級	第	級
傷病給付年金の額	Ĩ.		円	傷病給	付年金の智	Ħ	円
給付が変更になる	5年月					年	月
備考							

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第20号(第10条関係)

障害給付変更請求書

·	請求年	月日	年	J	月日
青森県警察本部長 殿	年金証書の	番号	第		号
	(請求者)				
次のとおり障害給付の変更を請求しま	住所				
す。	氏名				
1 現在受けている障害給付年金の障害等	級		第		級
2 現在受けている障害給付年金の支給が	5開始された年	三月			
				年	月
3 障害の程度に変更があった年月日			年	月	Ħ
4 障害の部位及びその程度					
5 変更後の障害等級			第		級
6 添付する書類その他の資料名					
※受理 ※決定		※決	定等級		
年 月 日 年	月 日		第		級

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。 [削る。]
 - 2 「4 障害の部位及びその程度」の欄の記入事項が添付された診断書の記載事項と同じであるときは、「診断書の記載事項のとおり」と記入すること。
 - 3 この請求書には、障害の程度に変更があった時期の決定及び変更後の障害等級の決定に必要な医師の診断書その他の書類及び資料を添付すること。
 - **4** 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第21号 (第10条関係)

傷病給付変更決定通知書

通知年月日	年	月	E i	重 知	番号	ĝ	等 号
住所							
氏名			殿		青森リ	県警察本部 長	ŧ 🖪
次のとおり傷症		更の決定	をした				
ので通知します。							
変	更	後		3	Ē	更	前
傷病等級	第		級	傷病等組	及	第	級
傷病給付年金の智	ij		円	傷病給作	十年金の智	Ħ	円
給付が変更になる	5年月					年	月
備考							

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第20号(第10条関係)

障害給付変更請求書

序 音 和 1) 及	文明水	THE STATE OF			
	請求年	月日	年	月	F
青森県警察本部長 殿	年金証書の	番号	第		号
	(請求者)				
次のとおり障害給付の変更を請求しま	住所				
す。	氏名				•
1 現在受けている障害給付年金の障害等約	Ę.		第		級
2 現在受けている障害給付年金の支給が	開始された年	. д			
	<i></i>			年	月
3 障害の程度に変更があった年月日			年	月	Ħ
4 障害の部位及びその程度					
5 変更後の障害等級			第		級
6 添付する書類その他の資料名					
※受理 ※決定		※決	定等級		

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。
 - 2 氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
 - 「4 障害の部位及びその程度」の欄の記入事項が添付された診断書の記載事項と同じであるときは、「診断書の記載事項のとおり」と記入すること。
 - 立の請求書には、障害の程度に変更があった時期の決定及び変更後の障害等級 の決定に必要な医師の診断書その他の書類及び資料を添付すること。
 - 5 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第23号(第11条関係)

年金額変更決定通知書

通知年月日	年	月	Ħ	通	知	番	号		第	号
住所氏名			房	Z,						
次のとおり 間	陽病給付年金 章害給付年金 貴族給付年金	の額の	の変更	m/			青着	集県警察本部	長	
を決定したのでi	重知します。									
変	更	後				変		更	前	
傷病給付年金			Р	9 1	傷病絲	合付年	F金			円
障害給付年金			Р	3 1	章害組	合付名	F金			円
遺族給付年金			P	1	遺族組	合付金	F金			円
年金の額が変更に	こなる年月							年		月
変更の理由										
備考										

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第22号 (第10条関係)

障害給付変更決定通知書

通知年月日	年	月	H	通	知	番	号		第	号
住所										
氏名			居	設			青石	柒県警察	本部長	[]
次のとおり障害		[の決定	をした	L.						
ので通知します。										
変	更	後				変		更	Ĥ	ήj
障害等級	笋	į	岩	及	障害等	亭級			第	級
障害給付年金の智	Ħ		P	9 1	障害網	合付金	F金0	の額		円
障害給付一時金0	D額		Р	9						
給付が変更になる	5年月								年	月
備考										

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第23号(第11条関係)

年金額変更決定通知書

	7 2	2 領 发 史	ν		± 7H			
通知年月日	年	月 日	ù	新 知	番	号	ĝ	弃 号
住所								
氏名		J.	嗀					
f	 傷病給付年金					書る	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	£ [B]
次のとおり 🏗	章害給付年金	の額の変	Đ			13.40	**************************************	` []
ì	貴族給付年金							
を決定したのでi	通知します。							
変	更	後			変		更	前
傷病給付年金		F	ŋ	傷病約	合付年	F金		円
障害給付年金		F	ŋ	障害組	合付年	F金		円
遺族給付年金		F	ŋ	遺族組	合付年	F金		円
年金の額が変更し	こなる年月						年	月
変更の理由								
備考								

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第22号(第10条関係)

障害給付変更決定通知書

	PAR 1	ST REAL TY	変 更	伏	ᄪᄍ	雷			
通知年月日	年	月	Βi	魚 知	番	号		第	号
住所									
氏名			殿			青森	:県警察	本部長	•
次のとおり障害	害給付の変更	の決定	をした						
ので通知します。									
変	更	後			変		更	Ī	前
障害等級	第	į	級	障害等	等級			第	級
障害給付年金の智	類		円	障害組	给付年	E金σ.)額		円
障害給付一時金の	の額		円						
給付が変更になる	る年月							年	月
備考									

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第24号の2 (第13条の2関係)

障害給付年金差額一時金請求書

					請求	年月日	年	, J	日
青森県警	- 京本部	長 殿			(請:	 (者)			
					住	所			
次のとお	り障害	給付年	金差額一時	寺金を請	氏	名			
求します。						力援助者 柄又は関			
	協力	援助者				(死亡生	手月日)		
1 協力援	住	所					年	月	日
助者に関	氏	名				(死亡)	寺の障害等	級)	
する事項		(年	月月	1生)		第	超	ŧ
	(既	存障害	とその程度	变)					
受給権氏	者の 名		髪助者と 続 柄	(給 付基礎額	寸) (倍質)	数) (支)	給された4 一時金の智	手金及 類の総	び前)
2				(円:	<	-		円)
障害 給付				×			-=		円
年金				(3	を給権す	皆の数)			
差額 一時									
金請 障害給さ	付年金れてい	をが いた	年金	(支給さ	された生	手金額の含	(指台		
求額場合の計		角							円
算 松一時	金がる	と給	年金 証書 番号	(支給さ	された i	前払一時会	金の額)		
されて		場合 領	号						円
彩	È		計						円
3 障害給何	寸年金	差額一時	時金の請求	 校額					円
4 添付する	る書類 資料名								

別記様式第24号(第12条関係)

年 金 支 払 請 求 書

	遺族給	を請求 付年金 付年金	ž	ます。				(第	月	日 弘
のとおり (年金の種) 情求期	軍金の支払 傷病給 額 障害給 遺族給 間	を請求 付年金 付年金	ž	ます。		住氏	月から	(第	超	ŧ)
請求期	質 障害給 遺族給	付年金	È)	#	ž)
請求金	類									
請求金	類	-				年	日主7	5		
							// 00 0			
受	給 権	-04								円
		者(の	氏	名		請	求	金 都	Į.
										円
										円
										円
										円
		計								円
年金支給	開始年月							年	月	1
年金証書	の番号							第	号	
限 行 扱み	口座の記	銀行 号番号		支店	預金名		(個人名義σ	t役職の名)場合は記	称入	
	□当座預	金		支店	義者名					
H	F金証書(長 行 長込み	及 行 口座の記 口 単通預 □ 当座預	E金支給開始年月	を主義を表現 を	E-金支給開始年月 E-金支給開始年月 E-金鉱書の番号	E-金支給開始年月 E-金並書の番号 接込先金融機関名 支店 預金 金 公	E-金支給開始年月 E-金鉱書の番号 振込先金融機関名 東行 「中座の記号番号 「中座の記号を表現する」 「中座の記号を表記する」 「中を記号を表記する」 「中座の	E金支給開始年月 - 金鉱書の番号 - 振込先金融機関名 支店 預 (個) 名義の 不要です。) - 京 込 み 一 音通預金 名義 金 金 金 銀行 支店 者 (フリガナ)	E金支給開始年月 年 - 金鉱書の番号 第 - 振び先金融機関名 支店 預 (個人名義の場合は記 不要です。) - 京 込 み	金金支給開始年月 年 月 金金芸の番号 第 旁 振込先金離機関名 支店 (個人名義の場合は記入 不要です。) 漬 ロ壁の記号番号 こ当座預金 鉄 町 重 金 (個人名義の場合は記入 不要です。) こ当座預金 鉄 (町 重 金 (スペース) また (フリガナ) また また な (フリガナ)

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第24号の2 (第13条の2関係)

障害給付年金差額一時金請求書

							請求	年月日		年	月	日
青	森県警察	2本部	長り	榖			(請	求者)				
							住	所				
次	のとおり) 障害	給付金	F 金差	額一	時金を請	氏	名				•
求し	ます。							協力援助者 党柄又は関				
		協力	援助	者				(死亡年	手月日)			
1	協力援	住	所						年	Ē	月	Ħ
	者に関	氏	名					(死亡	寺の障害	等新	及)	
す	る事項			(年	月月	3生)		第		級	
		(既	存障	害とそ	の程	度)						
	受給権氏	者の名	協力の	援助制統	者と 柄	(給 f 基礎		音数) (支) 払	給され: 一時金	た年の額	金及の総	び前) 計
2						(円	×	_			円)
障害給付						×						円
年金 差額						(§	 经給権	者の数)				
一時金請	障害給	付年金	全が	年金証	È)	(支給:	された	年金額の台	(指台			
求額	支給さ 場合	れてい	た	第								円
の計 算	障害給 払一時 されて	金がる	を給	年金証書	1	(支給さ	された	前払一時会	金の額)			Д
	é é		∞ □	第計	号							Pi El
3	障害給何		- 善額-		の語	水物						П
	添付する		1	4 715	-> 115	.1.104						1.7
	你们する の他の資											

別記様式第24号(第12条関係)

年 金 支 払 請 求 書

			4	垂	又	拉	#F						
							請	求生	14月1	3	年	月	-
	≨県警察な ○とおり4			求し	ます。		住	請求報 :所 :名	者又はf			 押すこ	® と。)
1 年	E金の種類	頁 障害	給付年 給付年 給付年	金							(第	i	級)
2 #	* 求期間	н					年		月から	<u>,</u>			
∠ ñF	11、朔日	ų,					年		月まっ	Ç3			
3 #	市求 金 智	Ħ											円
	受	給 権	者	Ø	氏	名			請	求	金	: 1	領
4 代表													円
者よる													円
請求の場													円
合の内訳													円
			計										円
5 年	E金支給[開始年月								年	1	,	月
6 年	E金証書0									第		号	
7 銷	艮 行	振込先	銀行		支尼	134		(個)	機関又に 人名義の				
送金希望の場合	長込み	口座の 口普通 口当座	預金	号		金名	L	下要	です。)				
望の	金 切手	口当座	銀行		支尼				リガナ)				
坦						名		氏	Ar .				

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第24号の3 (第13条の2関係)

障害給付年金前	竹払一時金請求書
青森県警察本部長 殿 次のとおり障害給付年金前払一時金 を請求します。	請求年月日 年月日 (請求者) 住所 氏名
1 (障害等級) 第 級	2 (既存障害とその程度)
3 請求者が選択する障害給付年金前 払一時金の額	□ 障害給付年金前払一時金の限度額 □ 1,200 倍 □ 1,000 倍 800 倍 に相当す 600 倍 る額 □ 400 倍 □ 200 倍
4 障害給付金前払一時金の請求額	(1) 限度額を選択した場合 円 (2) 限度額以外を選択した場合 (給付基礎額) 円× 倍= 円
5 障害給付年金前払一時金の申出を 行つた月までの期間に係る障害給付 年金の額の合計額	年 月分から 年 月分まで 円
6 障害給付年金の支払決定に関する 通知を受けた年月日	年 月 日
7 接込先金融機関名 銀行 金 振 込 み 日	支店 預 法人機関又は役職の名称 名 (個人名義の場合は記入 表 で要です。)
の場 送金 かり サービス 銀行 その他	者 (フリガナ) 玄店 名 氏 名
※受理 ※決定	※支払 年月日

- 中 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 円 日 末来者は、※中の欄には記入しないこと。該当する□にくを記入すること。 1 2 「2 「仮 存降書とその程度)」の欄には、同一部位について障害給付を支給された場合は、その該当する障害等級を明記すること。 3 「3 諸来者が選択する□にく印を記入すること。 3 「3 諸来者が選択する□にく印を記入すること。 4 「5 摩線給付年金前払一時金の頭」の欄については、請求者が選択する□にく印を記入すること。 4 「5 摩線給付年金前払一時金の申出を行った月までの期間に係る障害給付年金の類の合計館」及び「6 膺害給付年金の支給決定に関する通知を受けた年月日」の欄には、障害給付年金の最初の支払に先立って申し出る場合は記入しないこと。 5 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 縦長とする。

5	銀	Ŧ	振込先	金融機関 銀行	名	支店	預	(個		の場	職の名称合は記入	
送金			口座の	記号番号			金	小多	e C 9 o.	,		
希望	振込。	4	□普通 □当座	預金 預金			名義					
の場	送 小切	金手		銀行		支店	者		リガナ	-)		
合	その作	也					名	氏	名			
% 5	是理			※決定			% 3	支払			※決定金額	
	年	月	日	年	月	日		年	月	日		円

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。 [削る。]
 - <u>2</u> 「(既存障害とその程度)」の欄には、同一部位について障害の程度を加重した 場合に記入するものとし、既存障害について障害給付を支給された場合は、その 該当する障害等級を明記すること。
 - 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第24号の3 (第13条の2関係)

障害給付年金前払	A.一時金請求書
青森県警察本部長 殿 炭のとおり障害給付年金前払一時金 を請求します。	請求年月日 年 月 日 (請求者) 住 所 氏 名 章
1 (障害等級) 第 級	2 (既存障害とその程度)
3 請求者が選択する障害給付年金前 払一時金の額	□ 障害給付年金前払一時金の限度額 □ 1,200 倍倍 1,000 倍倍 1,000 倍倍 5 額 □ 400 倍 5 額 □ 200 倍
4 障害給付金前払一時金の請求額	(1)
5 障害給付年金前払一時金の申出を 行つた月までの期間に係る障害給付 年金の額の合計額	年 月分から 年 月分まで 円
6 障害給付年金の支払決定に関する 通知を受けた年月日	年 月 日
7 接込先金融機関名 銀行 金	女 (個人名義の場合は記入義 不要です。)
の場合 送金 銀行 銀行 その他	者 (フリガナ) 名 氏 名
※受理 年 月 日 年 月 日	※支払

- 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。該当する口にVを配入すること。
 2 氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
 3 「2 (既存障害とその程度)」の欄には、同一部位について障害の程度を
 加重した場合に記入するものとし、既存障害について障害給付を支給された場合は、その該当する障害等級を明記すること。
 4 「3 需求者が選択する口にV印を記入すること。
 5 「5 障害給付年金前私一時金の額」の欄については、請年本が選択する口にV印を記入すること。
 「5 「6 障害給付年金の車出を行った月までの期間に係る障害給付年金の額の合計額」及び「6 障害給付年金の支給決定に関する通知を受けた年月目、の欄には、障害給付年金の最初の支払に先立って申し出る場合は記入しないこと。
 「 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 縦長とする。

5	銀	行	振込先	金融機関	Ä	支店	預	(個	機関を	象の場	職の名称 合は記入	
送金			口座の	口座の記号番号			金	13		,		
希望	振込み	込み	□普通□当座				名義					
の場	送小切	金月手	銀行			支店	者	(>	リガイ	F)		
合	その	他					名	氏	名			
 ₩3	受理			※決定			₩3	支払			※決定金額	
	年	月	日	年	月	日		年	月	日		円

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。
 - 2 氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
 - <u>3</u> 「(既存障害とその程度)」の欄には、同一部位について障害の程度を加重した 場合に記入するものとし、既存障害について障害給付を支給された場合は、その 該当する障害等級を明記すること。
 - 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第24号の5 (第13条の3関係)

年金支給停止期間満了通知書

通知年月日	年	月	日	通	知	番	무	第	号
住 所 氏 名 次のとおり 期間が満了したの			殿				Ť	青森県警 須	家本部長
停止期間満了の年							£	F	月
年金の支給開始年							£	F	月
備考									

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第24号の4 (第13条の2関係)

遺族給付年金前払一時金請求書

				請	求生	年 丿	1 1	1		年	月	E
青森県警察	本部長 月	改			(者) E 所		(者)					
次のとおり	遺族給付年	F金前払一F	守金を請求し	В	E 名							
ます。					協力 続相		者と関係			DIG H	1222	
								□ 1,	000倍			
									800倍			
1 請求者 前払一時金	(代表者) Z Eの額	「選択する」	貴族給付年金		付基	礎額	0		600倍	に本	目当する智	ij
									400倍			
									200倍			
2 遺族給付	年金前払-	一時金の請	 校額	(彩	合付基 円			倍× (請	求者の		円	
3 遺族給付	年金前払一	一時金の請	水額の合計額	i (2	2の誰	水数 	i) 9×	(請求者	か数)	=	円	
4 遺族給付年金前払一時金の申出を行った月 までの期間に係る遺族給付年金の額の合計割						4	Ē	月分か	16	年	月分ま	で 円
5 遺族給付けた年月日	年金の支持	ム決定に関	する通知を受	:					年		月	Ħ
(代表者の氏	:名) を代表者	背として、i	貴族給付年金	前払ー	一時金	の前	水水	び受領	を委任	します	0	
	住		所			氏		名	té	力援助	者との結	柄
請求者								- 1	- 7			
の同順								- 1	1			
位者								-	1			
6		企融機関名	銀行	4	店	預	法人	機関区	'	の名称		
銀 行	- 日際の3	己号番号				金	(但	人名弟	の場合	は記入		
金板込み	□普通? □当座?	頁金 頁金				名義	不要	きです。)			
送場が切手		銀行				者	(>	リガナ	-)			
合その他			APA 1 /		と店	名	氏	名				
※受理		※決定			支払				※決定	全額		
年	月 日	年	月日	1	4	Ę.	月	日				Р

- 注 1 請求者は、※印の欄には記入しないこと。該当する口にレを記入すること。

 - 1 請求者は、祭担の欄には記入しないこと。該当するしに ひを記入すること。 [制念。]

 「1 請求者 (代表者) が選択する遺族給付年金前払一時金の額」の欄については、請求者 (代表者) が選択すること 1 遺族給付年金前払一時金の即出を行った月までの期間に係る障害給付年金の額の合計額」及び「5 遺族給付年金の支払決定に関する通知を受けた年月日」の欄には、遺族給付年金の最初の支払に先立って申し出る場合は記入しない。
 - 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第24号の5 (第13条の3関係)

年金支給停止期間満了通知書

通知年月日	年	月	日	通	知	番	号	第	号
住 所									
氏 名			殿				ī	F森県警	察本部長 回
次のとおり 道			停止						
期間が満了したの	りで通知しま	す。							
停止期間満了の生							£	F	月
年金の支給開始生							£	F	月
備考									

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第24号の4(第13条の2関係)

唐体经什年入前廿二時入籍世書

			遺族	給付年	F金前	払一	寺金:	青求	書					
						請求	年	月	Ħ			年	月	-
青森県	警察本	k部長 月				請求者	f (代 所	表者.)					
次のと	おり道	貴族給付金	F金前払一F	時金を誰	水し	氏 名						0		
ます。							協力援						i	
						ê	た柄 又	は関	係					
										1, 0	000倍			
										8	300倍			
		(代表者)が選択する遺族給付年金金の額			年金	40-fd	基礎的	H (C)		6	500倍	12	相当する	βĪ
11.72		- 801				49411	авнен	м->	П		100倍			
	き 遺族給付年金前払一時金の請求額					П		200倍						
						(20 E	基礎	(SE)		- 4	2001E			
2 遺族	給付年	F金前払-	一時金の請	水額		(MAI)	円×	1947			者の		円	
				(20)請求	(F)	_		(有の) の数)	B(.)				
3 遺族	給付年	計額	(2-		ÃΧ		V 13 ·	300	=	円				
4 遺族給付年金前払一時金の申出を行った月 までの期間に係る遺族給付年金の額の合計額								年	月分	か	6	年	月分ま	7
														円
5 遺族 けた年		F金の支担	仏決定に関	する通知	で受						年	i.	月	Ħ
(代表者	の氏名		ぎとして、i	遺族給付	 年金前	介払一 B	中金の1	请求	及び多	領	を委任	します		
		住			所		氏		名		16	力援明	力者との紛	栖
請求者										0	7			
の同順										0	1			
位者										0	-			
										0	3			
6		振込先会	è融機関名	銀行		支后	预	法	人機目	以	は役職	の名利	ř.	
	行	口座の記	己号番号				金	(1	固人名	義	の場合	は記入		
差金 振 込	S 44	□普通? □当座?	美				名	不	要です	.)				
					美	<u>-</u> -	フリオ	7-t-)						
場小り	1 手			銀行		支店				,,,				
÷ € 0) 他						名	H	: 名					
※受理 年		Э В	※決定 年	Я	В	※支持	生	月		Ε .	※決定	全額		F

別記様式第26号(第16条関係)

遺族給付年金支給停止解除申請書

	申請年月日 年 月 日
青森県警察本部長 殿	(申請者) 年金証書の番号 第 号 住所
次のとおり遺族給付年金の支給停止の解 除を申請します。	氏名 年 月 日生)
支給停止となった年月	年 月
※受理 ※決定 年 月 日 年 月	※決定内容 日 年 月分から解除

- 注1 申請者は、※印の欄には記入しないこと。
- 型 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第25号(第16条関係)

遺族給付年金支給停止申請書

						申請	年月	日	年	月	H	
青	森県警	察本部	吊長 殿			(申請 年金) 住所	情者) 証書の	番号	第	,	号	
				貴族給付金	F金のま	氏名				日生		
給停	止を申	請しま	ドす 。			所在	(年 月 所在不明者との続柄					
1	年 金	主証	書の	番号				9	Ř	号	r	
所	氏			名								
在不	最	後	の f	主 所								
明	所在:	不明と	となった	年月日				年	月	F	ı	
者	所在での事											
2	氏		名	住		j	听	年金番	を証書の 号	所在不	明者続柄	
申請												
者の												
同順												
位者												
3 添付する書類その他の資料名												
※受	※受理 ※決定					×2	央定内	内容				
	年	月	B	4	F A	日日		左	F 月:	分から何	£1E	

- 注 1 申請者は、%印の欄には記入しないこと。
 - [削る。]
 - ② 「1 所在不明者」の年金証書の番号欄には、その番号が不明のときは記入する必要はない。
 - 3 この申請書には、所在不明となった者の所在が1年以上明らかでないことを証明することのできる書類を添付すること。
 - 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第26号(第16条関係)

遺族給付年金支給停止解除申請書

		申請分	丰月	日	年	月	日
青森県警察本部長 殿		(申請等 年金証 住所		番号	第	무	
次のとおり遺族給付年金の支給 除を申請します。	i停止の解	氏名	(年	月	日生	(1)
支給停止となった年月					年	月	
※受理 ※決定 年 月 日	年 月	FI	※決	:定内? 年		から解	除

- 注1 申請者は、※印の欄には記入しないこと。
- 2 申請者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第25号(第16条関係)

遺族給付年金支給停止申請書

			i	貴族給付	年4	è 支á	哈停止	申	請	F					
							申請	年	月	H		年	月	日	
青	森県警須	多本部	長 殿				(申請者) 年金証書の番号 第					第	뮹		
w/.		er om skr	1 - 6° 0° 10	to 444 66 7 1	ter A .		住所						;	1	
	の所任/			貴族給付金	中金(り文	氏名		(白	=	月	B 4	0:	
Ro l'Y	正名中	пUX	9 0				所在不明者との続柄							E)	
1	年 金	証	書 の	番号						角	ij		5	÷	
所	氏			名											
在不	最	後	O 1	主所											
小明	所在で	所在不明となった年月日								年		月	F	3	
者	所在不の 事	明由													
2	氏		名	住				所		年金番	žāE ī	野の号	所在で		
申請															
者の															
同順															
位者															
3	3 添付する書類その他の資料名														
※受	受理 ※決定								% }	定定	容				
	年	月	Ħ	4	年	月	日			年	Ē	月夕	分から何	¥ΙΕ	

- 注 1 申請者は、※印の欄には記入しないこと。
 - $\underline{2}$ 申請者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
 - 3 「1 所在不明者」の年金証書の番号欄には、その番号が不明のときは記入する必要はない。
 - 4 この申請書には、所在不明となった者の所在が1年以上明らかでないことを証明することのできる書類を添付すること。
 - <u>5</u> 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

	傷病又は障害の種類
*	
9	
医	傷病の経過及び治療方法の概要
師	傷病又は障害の現状
の	
	今後の見込み
iiE	
	上記のとおりであると認めます。
	年 月 日
明	所 在 地
	病院又は診療所の名 称
	医師氏名

- 注 1 報告者は、※印の欄には記入しないこと。 [削る。]
 - <u>2</u> 療養・障害についてはいずれかを○で囲むこと。
 - 3 「7 日常生活の概況」の欄の記入に当たっては、最近1年間について記入す ること。
 - 4 障害年金受給者であって、障害が固定している者にあっては、「9 医師の証明」の欄を、その事実を証明することができる書類を添付することによって、代 えることができる。
 - 5 用紙の大きさは、日産業規格A4縦長とする。

別記様式第27号	(第17条、	第18条関係

療養現状報告書

-					
	報告年月	日	年	月	日
青森県警察本部長 殿	(報告者)				
次のとおり療養の現状を報告します。	住所				
學古	氏名			į	
1 負傷又は発病年月日			年	月	目
2 療養開始年月日			年	月	Ħ
3 傷病給付年金支給開始年月 障害給付年金		年		月	
4 年金証書の番号		第		무	
5 傷病名又は障害等級					
6 傷病の経過又は障害の状況					
7 日常生活の概況					
8 添付する書類その他の資料名					

	傷病又は障害の種類
*	
9	
医	傷病の経過及び治療方法の概要
師	傷病又は障害の現状
n	
	今後の見込み
証	
	上記のとおりであると認めます。 年 月 日
明	所 在 地
	病院又は診療所の名 称 医師氏名 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 注 1 報告者は、※印の欄には記入しないこと。
 - ② 報告者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。 ③ 療養・障害についてはいずれかを○で囲むこと。

 - ること。
 - 5 障害年金受給者であって、障害が固定している者にあっては、「9 医師の証 --明」の欄を、その事実を証明することができる書類を添付することによって、代 えることができる。
 - <u>6</u> 用紙の大きさは、日産業規格A4縦長とする。

別記様式第27号(第17条、第18条関係)

療養現状報告書

障害。	TK II				
	報告年	月日	年	月	B
青森県警察本部長 殿	(報告者)			
次のとおり 稼養 の現状を報告します。	住所				(f)
	八石				9
1 負傷又は発病年月日			年	月	Ħ
2 療養開始年月日			年	月	Ħ
3 傷病給付年金支給開始年月 障害給付年金支給開始年月		4	F	月	
4 年金証書の番号		第		뮹	
5 傷病名又は障害等級					
6 傷病の経過又は障害の状況					
7 日常生活の概況					
8 添付する書類その他の資料名					

備考 表中 Ó 0) 記載は注記である。

第三条

規則第十三号)の一部を次のように改正する。

次の表により、

(青森県放置違反金の徴収等に関する規則の一部改正)

青森県放置違反金の徴収等に関する規則

(平成十八年五月青森県公安委員会

に順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分のように

改正前欄に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分をこれ

別記様式第28号(第18条関係)

遺 族 の 現 状 報 告 書

					報告	年月日	年	月	日
青	茶県警9	察本部	形長 殿		(報行	告者)			
					住	所			
次	のとおり	り潰り	集の現状を軸	収告します。	氏	名		ſ	
					年金	証書の番	:号 第	·	号
1 1	為力援明	助者の)氏名		•				
				(年	月	日死亡)			
2	氏	名	生年月日	住	所	協力援 助者と の続柄	障害の有無	報告者 計してい 実の有	がとは は は は は は は は は は は は は は は は は は は
遺族							有・無	有•	無
給付年							有・無	有•	無
遺族給付年金受給資格者							有·無	有・	無
資格者							有・無	有・	無
							有・無	有・	無
3 1	系付する	る書業	頁その他の資	資料名				•	

- 注 [削る。]
 - 1 2の項中「障害の有無」の欄において障害とは、身体若しくは精神に7級以上 の障害等級の障害に該当する程度の障害がある状態又は負傷若しくは疾病が治ら ないで、身体の機能若しくは精神に軽易な労務以外の労務に服することができな い程度以上の故障がある状態をいう。
 - 2 2の項中有無のいずれかを○で囲むこと。
 - 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

遺族の現状報告書

					報告	年月日	年	月	Ħ
青	森県警	察本部	吊長 殿		(報行	告者)			
次	のとお	り遺が	実の現状を幸	服告します。	氏			[(1)
					年金	証書の番	号 第		号
1	協力援助	助者0)氏名						
				(年)	月日	日死亡)			
2	氏	名	生年月日	住	所	協力援 助者と の続柄	障害の有無	報告を記しま	じくいる事
遺族							有・無	有・	無
遺族給付年金受給資格者							有・無	有・	無
金受給							有・無	有・	無
資格者							有・無	有・	無
							有・無	有・	無
3	添付す	る書業	質その他の資	資料名					

- 注 1 報告者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
 - 2 2の項中「障害の有無」の欄において障害とは、身体若しくは精神に7級以上 の障害等級の障害に該当する程度の障害がある状態又は負傷若しくは疾病が治ら ないで、身体の機能若しくは精神に軽易な労務以外の労務に服することができな い程度以上の故障がある状態をいう。
 - 3 2の項中有無のいずれかを○で囲むこと。
 - 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

別記様式第6 (第4条関係) (裏) 仮納付金返還請求書記載要領 1 住所、氏名、電話番号を<u>記入し</u>てください。 住所は郵便物が届くよう詳しく記入し、電話番号は携帯電話等日中に連絡がと れる番号を記入してください。 2 振込先金融機関店舗名 (1) 振込先金融機関店舗名 (郵便貯金に振り込むことはできません。) 金融機関名とその支店名を正確に記入してください。 (2) 振込口座(普通預金又は当座預金を指定してください。)及び口座番号を 記入してください (請求者ご本人の口座に限ります)。 手続を済ませ次第、「振込通知書」をお送りします。 3 照 会 先

			1欠 納	17 金	返還	有水告		for	н	
子森県	警察本部長	殿						牛	月	
					郵便番	2	_			
						9				
					電話 ()	_		
					氏名				_[
金額				円						
				,						
	上記金額に	ついて	、下部	己の私々	名義の口具	座に銀行	振込の)	取扱い	・をされ	た
		ついて	、下部	己の私々	名義の口原	室に銀行	振込の〕	取扱い	をされ	ı た
	上記金額に	ついて	、下部	己の私公	名義の口が記	室に銀行	振込の)	取扱い	かをされ	た
請	上記金額に				記					ıħ:
請	上記金額に求します。	融機関	店舗名	_	話	銀行				
請 1	上記金額に求します。振込先金金	融機関	店舗名コード	_	記	銀行		支	店	nt:
請 1	上記金額に求します。振込先金金振込口座	融機関の	店舗名 コード カナ)	, 	話	銀行		支	店	

改

正

後

改

正

前

備考 住所は郵便物が届くように詳しく記入し、電話番号は携帯電話等日中に連絡がと れる番号を記入してください。

1 住所、氏名、電話番号を<u>記入し、押印し</u>てください。 住所は郵便物が届くよう詳しく記入し、電話番号は携帯電話等日中に連絡がと れる番号を記入してください。 2 振込先金融機関店舗名 (1) 振込先金融機関店舗名 (郵便貯金に振り込むことはできません。) 金融機関名とその支店名を正確に記入してください。 (2) 振込口座(普通預金又は当座預金を指定してください。) 及び口座番号を 記入してください (請求者ご本人の口座に限ります)。 手続を済ませ次第、「振込通知書」をお送りします。 3 照会先

(裏)

仮納付金返還請求書記載要領

別記様式第6 (第4条関係) (表) 仮納付金返還請求書 年 月 日 青森県警察本部長 殿 郵便番号 住所 電話(氏名 金額 円 上記金額について、下記の私名義の口座に銀行振込の取扱いをされたく 請求します。 1 振込先金融機関店舗名 銀行 支店 金融機関コード 2 振込口座 (カタカナ) (普通・当座) 口座番号__

備考 住所は郵便物が届くように詳しく記入し、電話番号は携帯電話等日中に連絡がと れる番号を記入してください。

()

放置違反金還付請求書記載要領

- 1 住所、氏名、電話番号を<u>記入し</u>てください。 住所は郵便物が届くよう詳しく記入し、電話番号は携帯電話等日中に連絡がとれる番号を記入してください。
- 2 振込先金融機関店舗名
- (1) 振込先金融機関店舗名 (郵便貯金に振り込むことはできません。) 金融機関名とその支店名を正確に記載してください。
- (2) 振込口座(普通預金または当座預金を指定してください。)及び口座番号を記入してください(請求者ご本人の口座に限ります)。 手続を済ませ次第、「振込通知書」をお送りします。
- 3 照 会 先

別記様式第19	(答:0:	冬門/で

放置違反金遷付請求書 年 月 青森県警察本部長 殿 郵便番号 ― 住所 <u>電話 () ―</u> 氏 名 上記金額について、下記の私名義の口座に銀行振込の取扱いをされた ます。 記 振込先金融機関店舗名 銀行	_
寿森県警察本部長 殿 郵便番号 ― 住所 電話 () ― 氏 名 上記金額について、下記の私名義の口座に銀行振込の取扱いをされた ます。	
郷便番号 ― 住所 電話 () ― 氏 名	
住所 電話() 一 氏名 ・ 氏名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
 整語() 一 氏名 上記金額について、下記の私名義の口座に銀行振込の取扱いをされたます。 記	
 整語() 一 氏名 上記金額について、下記の私名義の口座に銀行振込の取扱いをされたます。 記	
氏 名 西 田 上記金額について、下記の私名義の口座に銀行振込の取扱いをされた。 記	
上記金額について、下記の私名義の口座に銀行振込の取扱いをされた よす。 記	7
上記金額について、下記の私名義の口座に銀行振込の取扱いをされた します。 記	t
上記金額について、下記の私名義の口座に銀行振込の取扱いをされた します。 記	
上記金額について、下記の私名義の口座に銀行振込の取扱いをされた します。 記	
します。 記	
します。 記	
記	: 〈計
記	
NO.	
	#1
<u> </u>	
金融機関コード	
2 振込口座 (カタカナ)	
(普通・当座) 口座番号	

備考 住所は、郵便物が届くように詳しく記入し、電話番号は携帯電話等日中に連絡が とれる番号を記入してください。

(裏)

放置違反金還付請求書記載要領

- 1 住所、氏名、電話番号を<u>記入し、押印し</u>てください。 住所は郵便物が届くよう詳しく記入し、電話番号は携帯電話等日中に連絡がと れる番号を記入してください。
- 2 振込先金融機関店舗名
- (1) 振込先金融機関店舗名 (郵便貯金に振り込むことはできません。) 金融機関名とその支店名を正確に記載してください。
- (2) 振込口座(普通預金または当座預金を指定してください。)及び口座番号を記入してください(請求者ご本人の口座に限ります)。 手続を済ませ次第、「振込通知書」をお送りします。
- 3 照 会 先

別記様式第12(第8条関係)

		(24)			
	放置違	反金還付請求	学 書		
				年	月 日
青森県警察本部長 馬	Ĭ.				
		郵便番号	_		
		住所			
		電話 ()	_	
		氏 名			0
		٦			

金額 円

上記金額について、下記の私名義の口座に銀行振込の取扱いをされたく請求 します。

1 振込先金融機関店舗名 <u>銀行</u> 支店 金融機関コード

2 振込口座 (カタカナ) (普通・当座) 口座番号_____

備考 住所は、郵便物が届くように詳しく記入し、電話番号は携帯電話等日中に連絡が とれる番号を記入してください。

第四条 委託講習等の実施に関する規則(平成二十三年十二月青森県公安委員会規則	(委託講習等の実施に関する規則の一部改正)
後欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分のように改める。	次の表により、改正前欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分を

第九号)の一部を次のように改正する。

第		第 号
年 月		年 月 日
肾森県公安委員会 殿 :	青森県公安委員会 殿	
受託法人代表者職么		受託法人代表者職名
講習指導員選任報告書	認知機能検査員選任報告?	±
下記の者を 指導員に選任したので	及告 下記の者を認知機能検査員に選任したので報告する	z
5。 記	おしい有を認めて、日本日子の	y 0
	住 所	
所	氏 名	
名 年月日 年月日	生 年 月 日	年 月 日生
	_	
	職歴の概要	
歴の概要		
格、免許	資格、免許	
考	備考	
樣式第 2 号(第 5 条関係)	別記様式第1号(第5条関係)	
第	+	第 号
第 年 月	+	第 号 年 月 日
第	青森県公安委員会 殿	
第 年 月 育森県公安委員会 殿	青森県公安委員会 殿	年 月 日 受託法人代表者職名 围
第 年 月 日 青森県公安委員会 殿 受託法人代表者職名 1	青森県公安委員会 殿	年 月 日 受託法人代表者職名 回
第 年 月 学森県公安委員会 殿 受託法人代表者職名 ! 課習指導員選任報告書 指導員に選任したので・	青森県公安委員会 殿 	年 月 日 受託法人代表者職名 国
第 年 月 「存棄県公安委員会 殿 受託法人代表者職名 ! 講習指導員選任報告書	青森県公安委員会 殿 	年 月 日 受託法人代表者職名 国
第 年 月 学春県公安委員会 殿 要託法人代表者職名 ! 講習指導員選任報告書 F記の者を 指導員に選任したので	青森県公安委員会 殿 認知機能検査員選任報告: 下記の者を認知機能検査員に選任したので報告す:	年 月 日 受託法人代表者職名 国
第 年 月 学森県公安委員会 殿 受託法人代表者職名 ! 講習指導員選任報告書 「記の者を 指導員に選任したので 5。 記	青森県公安委員会 殿 認知機能検査員運任報告 で記の者を認知機能検査員に選任したので報告する 記	年 月 日 受託法人代表者職名 国
第 年 月 学森県公安委員会 殿 受託法人代表者職名 ! 講習指導員選任報告書 F記の者を 指導員に選任したので 5。	青森県公安委員会 殿 認知機能検査員選任報告で 下記の者を認知機能検査員に選任したので報告する 記 住 所 氏 名 生 年 月 日	年 月 日 受託法人代表者職名 国
第 年 月 学森県公安委員会 殿 受託法人代表者職名 ! 講習指導員選任報告書 「記の者を 指導員に選任したので 記	青森県公安委員会 殿 認知機能検査員選任報告で 下記の者を認知機能検査員に選任したので報告する 記 住 所 氏 名 生 年 月 日	年 月 日 受託法人代表者職名 国 書
第 年 月 日 第 日 第 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	青森県公安委員会 殿 認知機能検査員選任報告で 下記の者を認知機能検査員に選任したので報告する 記 住 所 氏 名 生 年 月 日	年 月 日 受託法人代表者職名 国 書
第 年 月 学森県公安委員会 殿 受託法人代表者職名 ! 講習指導員選任報告書 「記の者を 指導員に選任したので 記	青森県公安委員会 殿 認知機能検査員遷任報告 下記の者を認知機能検査員に選任したので報告する 記 住 所 氏 名 生 年 月 日	年 月 日 受託法人代表者職名 国 書
第 年 月 日 第 日 第 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	青森県公安委員会 殿 認知機能検査員選任報告 下記の者を認知機能検査員に選任したので報告する記 住 所 氏 名 生 年 月 日	年 月 日 受託法人代表者職名 国 書
第 年 月 日 要 月 日 を 日 日 を 日 日 と と 日 と は こ こ と は こ こ と は こ こ と は こ こ と こ こ と は こ こ こ こ	青森県公安委員会 殿 認知機能検査員遷任報告 下記の者を認知機能検査員に選任したので報告する 記 住 所 氏 名 生 年 月 日	年 月 日 受託法人代表者職名 国 書
第 年 月 日 第 日 第 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	青森県公安委員会 殿 認知機能検査員選任報告 下記の者を認知機能検査員に選任したので報告する記 住 所 氏 名 生 年 月 日	年 月 日 受託法人代表者職名 国 書
第 年 月 日 要 月 日 を の 概 要 を か 概 要 を か で る で は か で な か で な か で な か で な か で な か で な か で な か で な か で な か で な か で な か で な か で な か で な か で な か で な か で か で	青森県公安委員会 殿 認知機能検査員選任報告 下記の者を認知機能検査員に選任したので報告する記 住 所 氏 名 生 年 月 日	年 月 日 受託法人代表者職名 国 書
第 年 月 日 要 日 日 を 日 日 と 日 日 と 日 日 と 日 日 と 日 と	青森県公安委員会 殿 認知機能検査員選任報告され 下記の者を認知機能検査員に選任したので報告する記 住 所 氏 名 生 年 月 日 職 歴 の 概 要 資格、免許	年 月 日 受託法人代表者職名 国 書
第 年 月 日 要 日 日 を 日 日 と 日 日 と 日 日 と 日 日 と 日 と	青森県公安委員会 殿 認知機能検査員選任報告され 下記の者を認知機能検査員に選任したので報告する記 住 所 氏 名 生 年 月 日 職 歴 の 概 要 資格、免許	年 月 日 受託法人代表者職名 国 書 る。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分をこれに対応する改正

別記様式第4号(第6条関係)

青	森県	公安	委員会	受託法		月	
下しま		とお	り講習	講習指導員等解任等届出書 指導員等を解任・業務禁止・委嘱の取消しと 記	: l /:	: ので届	計出
住			所				
氏生	年	月	名日				
		係る等の					
処	分	内	容	・解 任 ・業務禁止 (年 月 日から 年 / ・委嘱の取消	月	日まで))
処	分	理	由				
備			考				

- 備考1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。 2 該当部分を○で囲み、業務禁止の場合は、() 内に当該処分の始期及び終期 を記載すること。

別記様式第3号(第5条関係)

			第	号
			年	月 日
青森県公安委員会	\$20%			
日林尔丛女女员云	PSK			
			est ac No. 1	la min min min da
			受託 法人 作	弋表者職名

	講 師 委	嘱 報 告 書		
下記の者を	講習の講	師として委嘱した	たので報告する	5.
		記		
		nL		
住 所				
職業(勤務先)				
氏 名				
生 年 月 日				
委 嘱 期 間	年	月 日~	年 月	日
経 歴				
備考				

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第4号(第6条関係)

71 nL 13K 14 59 (5t)	O 34 D2 M4 /												
	第 号 年 月 日												
青森県公安委員会	:												
	受託法人代表者職名 囯												
	講習指導員等解任等届出書												
下記のとおり講習指導員等を解任・業務禁止・委嘱の取消しとしたので届け出 します。													
-	記												
住 所													
氏 名 生 年 月 日													
解任等に係る講習 指導員等の種類													
処 分 内 容	・解 任 ・業務禁止 (年 月 日から 年 月 日まで) ・委嘱の取消												
処 分 理 由													
備考													

- 備考1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。 2 該当部分を○で囲み、業務禁止の場合は、() 内に当該処分の始期及び終期 を記載すること。

77 HG P	W 24 31	0 9	(第5	/K IA	2 1/1 /										
													第		号
													年	月	日
青	森県2	公安委	員会	殿											
											7	託法	人代表	者職名	Ē
										•					
					講	師	委	喊	報	告	書				
_	記の者	ic a				- the 1910	m 28	éat 1.	1	as we	1 2		報告す		
Г	記りる	F &				再省	の壽	即と記	L	安鴨	U /3	0) (報告9	٥.	
住															
	業 (動	勧務を													
氏	年	В	名口												
Ξ.	+	7	н												
委	嘱	期	間				年	月		日~		年	月	Ħ	
経			歷												
_				<u> </u>											
備			考												

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第5号(第7条関係)

青森県公安委員会 殿

受託法人代表者職名

認知機能檢查実施計画書

道路交通法第97条の2第1項第3号イに規定する認知機能検査の実施について、 下記のとおり計画したので報告します。 記

						F	EC						
実	施	日		開	始 時	間	実	施	日		開	始 時	間
月	F	1 ()	午前 午後	時時	分 分	月	FI	()	午前 午後	時時	分 分
月	F	1 ()	午前 午後	時時	分 分	月	B	()	午前 午後	時時	分 分
月	F	1 ()	午前 午後	時時	分 分	月	F	()	午前 午後	時時	分 分
月	F	1 ()	午前 午後	時時	分 分	月	F	()	午前 午後	時時	分 分
月	В	1 ()	午前 午後	時時	分 分	月	Ħ	()	午前 午後	時時	分 分
月	F	1 ()	午前 午後	時時	分 分	月	FI	()	午前 午後	時時	分 分
月	E	()	午前 午後	時時	分 分	月	FI	()	午前 午後	時時	分 分
月	F	1 ()	午前 午後	時時	分 分	月	Ħ	()	午前 午後	時時	分 分
月	F	I ()	午前 午後	時時	分 分	月	Ħ	()	午前 午後	時時	分 分

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第5号(第7条関係)

青森県公安委員会 殿

受託法人代表者職名 囯

認知機能検査実施計画書

道路交通法第97条の2第1項第3号イに規定する認知機能検査の実施について、 下記のとおり計画したので報告します。 記

実	施	Ħ		開	始 時	間	実	施	Ħ		開	始 時	間
月	FI	()	午前 午後	時時	分 分	月	日	()	午前 午後	時時	分 分
月	FI	()	午前 午後	時時	分 分	月	F	()	午前 午後	時時	分 分
月	FI	()	午前 午後	時時	分 分	月	FI	()	午前 午後	時時	分 分
月	H	()	午前 午後	時時	分 分	月	Ħ	()	午前 午後	時時	分 分
月	H	()	午前 午後	時時	分 分	月	Ħ	()	午前 午後	時時	分 分
月	FI	()	午前 午後	時時	分 分	月	日	()	午前 午後	時時	分 分
月	B	()	午前 午後	時時	分 分	月	日	()	午前 午後	時時	分 分
月	Ħ	()	午前 午後	時時	分 分	月	Ħ	()	午前 午後	時時	分 分
月	FI	()	午前 午後	時時	分 分	月	目	()	午前午後	時時	分分

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第5号の2 (第7条関係)

第 号 年 月 日

青森県公安委員会 殿

受託法人代表者職名

認知機能検査実施結果報告書

番号	免許証番号	氏名	性別	生年月日	年齢	通知番号及び	認知登録番号	検査日	時	運転		認知機能核	查結果			受講	検査	備考
Hf 17	JUST SILLER 15	K/A	135,01	工平万日	-1-10h	通知番号	認知登録番号	年月日	時	頻度	時間の見当識	手がかり再生	時計描画	総合得点	判定	有無	回数	用や
		·																

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第5号の2 (第7条関係)

第 号 年 月 日

青森県公安委員会 殿

受託法人代表者職名 囯

認知機能検査実施結果報告書

	ı		1	1		通知要是UVI	認知登録番号	検査日	184:	運転	1	認知機能相	★公里			受講	検査	
番号	免許証番号	氏名	性別	生年月日	年齢	通知番号	認知登録番号	年月日	時	頻度	時間の見当識		時計描画	総合得点	判定	有無	回数	備考
						地和電力	砂州並称留力	十月日	Hd.	頻改	MTHJ02万亡 当成	ナルル・サモ	MA 11 1円 1円	#0 EI 14777	刊足	79.77	四级	
			1															
			†															

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第	12号(第7	条関係)						
						第		号
						年	月	日
青森県公	安委員会	殿						
					受	託法人	4 表 者 8	* 夕
					·	. 110 127 7 (434 114	м-н
		* *	実施系	: III ±0	生 車			
		-5 B	. 天 胞 和	水椒	百 音			
***	5.3+ 然 100 A	の 0 答 1	西衛 9 巴 小 4	日本にトマ	North Ann All An	08k 333 ar =	K at of 1	II ht
			項第3号の非			再省の	写賞 結り	RII.
ト記のとま	3りである)	いら答案用	紙を添えて		Γ.			
		1	ñ	2				
講習生	手 月 日							
講習	会 場							
講習技	指導 員							
		考	変 実	施	結 果	:		
	考查成績							
		優	良	Π	不可		計-	
	処分日数	3 6 ~ 4 2	30~35	2 1 ~ 2 9	0 ~ 2 0			
短期	30月							
中期	60日							
	90日		1					
	120日							
長期	150日							
	180日							
合	計							

н	131.21	SAFE S	弗(米例衍	•/					第		号
									年	月	日
	s oks o	県公安委員	s A m								
В	T NOR!	朴公女安 身	元 版								
									受託法人们	1大米子	勝夕
								·	X 11 LL / (1	434 11	PM-14
			停止処	·分者講	習実施結界	·報告書 (年 月)		
	曜		短期講習			中期講習		Į.	長期講習		3
1	PΕ	男性(人)	女性(人)	小計	男性(人)	女性 (人)	小計	男性(人)	女性(人)	小計	P
_											
_											
4											
4											
\dashv											
+											
-											
+											
+											
+											
1											
1											
1											
1											
1											
_											
_											
_											
_											
\dashv											
4				-							┡
21											

計 備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第	第12号 (第7	条関係)						
						第		号
						年	月	Ħ
青森県2	公安委員会	殿						
					受託法	人代表	者職名	E

		考 査	実 施 絹	果報	告 書			
道路交通	通法第108条	の2第1項	頁第3号の共	見定による	停止処分者	講習の	答查結果	具は
下記のと	おりである	から答案用	紙を添えて	報告します	0			
			â	1				
講習:	年月日							
講習	会 場							
講習	指導員							
		考 查	実	施	結 果			
	考查成績	-						
		優	良	म्	不可		#	
講習区分	処分日数	3 6 ~ 4 2	30~35	2 1 ~ 2 9	0 ~ 2 0			
短期	30 ∄							
-1- 440	60日							
中期	90日							
	120日							
長期	150日							
	180日							
合	計							

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする	る。
--------------------------	----

									第年	月	号口	
									-	71	н	
1	手森!	県公安委員	会 殿									
								27E, 13r	: 3+ 1 4b ** :	板形か	F9	
								文司	法人代表	自称石	EH	
				分者講		早報告書 (年 月				
日	曜		短期講習			中期講習			長期講習		計	
_		男性(人)	女性(人)	小計	男性(人)	女性(人)	小計	男性(人)	女性(人)	小計		
_												
							-			-		

別記様八弟14号	(弗/宋)	R)					
					第		号
					年	月	Ħ
青森県公安委	委員会 殿						
							:
				受託	法人代	表者職	铭
			i				
		山刑市楼 3	習終了報告書				
		十至年課日	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
		6 ma - 1 - 2 - 2 - 1 ma - 1 - 1			10 4		
下記の者に終了したこと			08条の2第1項	(第4号)	こ規定	するま	業習を
, 0,222	C 144 1 7 6		記				
Ab or for HD alls			RG .	rf			Left.
終了証明書 号	実 施 年月日	住	所	氏 生 :	年月	名日	性別
							L_

別記様式第13号(第7条関係)

				第		뮷
				年	月	日
青森県公安委員会 殿						
		· · · · ·				
			受託法	人代表	者職名	i
	大型車講習終了報	告書				

第

뮷 年 月 日

下記の者について、道路交通法第108条の2第1項第4号に規定する講習を 終了したことを報告する。

		Î	記		
終了証明書 番 号	実 施年月日	住	所	氏 生 年 月	性別
					_

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第14号(第7条関係)

					弗		ッ
					年	月	Ħ
青森県公安	委員会 殿						
			3	受託法人	代表者	職名	1
		中型車講習	終了報告書				
下記の者に終了したこと			8条の2第1項	第4号	に規定	するi	溝習 を
	1		iL	1			ı
終了証明書	実 施 年月日	住	所	生 生	年月	名日	性別

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第13号(第7条関係)

青森県公安	委員会 殿					
			受計	法人代表	者職名 囯	
		大型車講習	終了報告書			
下記の者に 終了したこと			8条の2第1項第	第4号に非	規定する記	帯習る
		Ē	2			
終了証明書 番 号	実 施 年月日	住	所		名 月 日	性別
農孝 田紙の士	キャロ ロコ	< 産業規格A列4	乗しする			

川記様式第15号	(第7条関係	系)			
			第	ĵ.	号
			年	月	Ħ

青森県公安委	三貝会 販				
			受託法	人代表者	「職名
		普通車講習終了報告書			
		道路交通法第108条の2第1項	第4号に非	規定する	5講習を
終了したこと	を報告する)。 記			
終了証明書	実 施年月日	住 所	氏 生 年	名 月 日	

別記様式第14号の2 (第7条関係)

				第	9	号
				4	F 月	Ħ
青森県公安会	委員会 殿					
			:-			:
				受託法	人代表者耶	競名
			i			j
		準中型車講	習終了報告書			
		路交通法第108	8条の2第1項第	第4号に規	定する講	習を終
了したことを	報告する。					
			記			ı
終了証明書 番 号	実 施 年月日	住	所		名 月 日	性別
	l			1		

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第15号(第7条関係)

					年	月	Ħ
青森県公安会	委員会 殿						
				受託法人	.代表者	職名	=
		普通車講	習終了報告書				
下記の者に終了したこと			108条の2第1項 記	第4号(に規定	する診	帯習を
終了証明書 番 号	実 施 年月日	住	所		年月		性別
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第14号の2 (第7条関係)

					第		뮷
					年	月	B
青森県公安	長員会 殿						
				受託法人们	大表者	職名	Ħ
			i				
		準中型車講習	1				
		41 ± 4 H E	1 NY 1 HK LI E				
下記の者に	ついて、道	路交通法第108条	♠の2第1項算	第4号に対	見定す	る講習	四を糸
了したことを						w 111 1	
		ic	1				
		пL	,	1			
終了証明書 番 号	実 施 年月日	住	所	氏 生 年	п	名口	性別
留 万	平月日			土牛	. д	н	75'1
							-

					第		뮷
					年	月	日
青森県公安	委員会 殿						
				굦	毛法 人	代表者耶	6名
			i.				
		普通二輪車講	羽分マ初生事				
		省地—辅早碑	首称「報宣書				
		直路交通法第108	3条の2第13	項第5号	に規定	官する!	講習
終了したこと	を報告する						
		ii	2				
終了証明書	実 施	住	所	氏		名	
終了証明書 番 号		住	所		年月		
		住	所		年月		
		住	所		年月		
		住	所		年月		
		住	所		年月		
		住	所		年 月		
		住	所		年 月		
		住	Pf		年月		
		住	所		年 月		
		住	所		年月		
		住	所		年 月		12 33
		住	所		年月		

別記様式第16号(第7条関係)

	(NA 1 NEINIA					_
				第		무
				年	月	Ħ
青森県公安	委員会 殿					
				77 AZ VA	1 /b === ====	m. /r
				受託仏.	人代表者則	敞名
			•••			
		大型二輪車部	唯 習終了報告書			
		7122-1871	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
下記の者に	ついて、道	鱼路交通法第10	8条の2第1項	第5号に規	定する	舞習を
終了したこと	を報告する					
			記			
			н			I
	実 施 年月日	住	所	氏 生 年		性別
由 万	平月日			生平	л п	7513
						
				1		

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第17号(第7条関係)

					年	月	Ħ
青森県公安	委員会 殿						
			•			者職名	a
		普通二輪車	講習終了報告書				
下記の者に終了したこと			08条の2第1項 記	第 5 号	に規り	定する	溝習を
終了証明書 番 号	実 施 年月日	住	所	氏生	年月	名目日	性別
1	1	l		1			1

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第16号(第7条関係)

					年	月	H
青森県公安	委員会 殿						
							a
			İ	受託法人	代表者	職名	a
			·				
		大型二輪車講	習終了報告書				
	こついて、追 : を報告する	直路交通法第108 。	条の2第1月	負第 5 号 [こ規定	する話	群習 :
		i	3				
終了証明書	実 施	42-	795	氏		名	性
番 号	年月日	住	所		年 月		別

別記様式第19号	第7条関位	(E)					
				第	į		号
				年	.)	1	H
青森県公安	委員会 殿						
				受託法	1.44.1	5 2 5 8	14.夕
				文託伝	ハハオ	₹-13 N	K-/13
			•••				
		大型旅客車講習終了報	告書				
		直路交通法第108条の2	第1項	第7号に対	見定す	るま	弊習 を
終了したこと	を報告する	•					
		記					
終了証明書	実 施	住 所		氏		名	性
番号	年月日			生 年	月	H	别
l							

別記様式第18号(第7条関係)

-	, (M. MINIO	117					
-					第	9	뮷
					年	F 月	日
青森県公安	委員会 殿						
				- 1	受託法	人代表者	職名
				:			
		原付講習	1 60 7 AD	生 幸			
		原 刊 講 省	一 市令 】 羊椒				
下記の者	こついて ま	直路交通法第	108条の9	第1項	第6号に:	相定する	*
	とを報告する		100,407 2	37 1 -30	#1 0 /J (C)	96 AL 7 %	D19 E3
	2 C TA H / 6						
			記				
終了証明書	実 施	Pi-	所		氏	名	性
番 号	年月日	111	121		生 年	月日	別
	+						
	+						
	+						

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第19号(第7条関係)

					年	月	Ħ
青森県公安	委員会 殿						
				受託法。	人代表	者職名	a
		大型旅客車	講習終了報告書				
下記の者に終了したこと			108条の2第1項 記	第7号	に規算	定する	講習を
終了証明書 番 号	実 施 年月日	住	所	氏生	年月	名 日	性別

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第18号(第7条関係)

					第		号
					年	月	Ħ
青森県公安会	전문스 타						
月林州公女。	公贝云 阪		_				
			ſ	×7 44 14 1	//s === ==	C 1000 - C+	_
				受託法人	1\3<	1 収石	田
		原付講習終	1 7 報告書				
		// 17 H7 E //	, , ,,, ,, ,,,				
下記の者に	ついて ま	直路交通法第108	8条の9第1項	i 笛 6 号 l	て担定	: する!	帯羽を
終了したこと			7K-7 2 7/1 3	. ,,, 0 ., 1	- /9L /C	. , 01	700
		ñ	3				
終了証明書		住	所	氏		名	性
番号	年月日	ш.	721	生生	年 月	H	別
		· 商業相枚 Δ 別 / 3					L

号

						第			号
						年		月	H
青森県	公安多	長員会 殿							
					: :				
						受託法	人代	表者	厳名
			普通旅客車講	習終了報告書	F				
			直路交通法第108	条の2第1	項第7	号に#	定	する	# 習
終了した	ル	を報告する							
		C 11-11-7 G	0 0						
			it	!					
終了証	明書	実 施		所	Ħ			名	
終了証明番	明書		ic			: 年			
	明書	実 施	ic						
	明書	実 施	ic						
	明書	実 施	ic						
	明書	実 施	ic						
	明書	実 施	ic						
	明書	実 施	ic						
	明書	実 施	ic						
	明書	実 施	ic						性別
	明書	実 施	ic						
	明書	実 施	ic						
	明書	実 施	ic						

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第21号 (第7条関係)

別記様式第20号(第7条関係)

			第		号
			年	月	H
青森県公安					
HMMAA	X 94 24 95X				
		[·			
			受託法人们	能告表力	铭
		i			
		中型旅客車講習終了報告書			
下記の者に	こついて、道	直路交通法第108条の2第1項	第7号に規定	*する	黄習を
終了したこと					
		記			
Ab	ete 46		rf.		Let.
終了証明書	実 施 年月日	住 所	生 年 月	名 日	性別
			1		
			+		

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

年 月 日 青森県公安委員会 殿 受託法人代表者職名 国 普通旅客車講習終了報告書 下記の者について、道路交通法第108条の2第1項第7号に規定する講習を 終了したことを報告する。 終了証明書 実 施番 号 年月日 氏 名生年月日 住

第

号

受貝云 販				
			受託法人代表者職	名 回
	中型旅客車譜	習終了報告書		
			項第7号に規定す	る講習
	i	2		
実 施 年月日	住	所	氏 4 生年月日	
	を報告する実施	中型旅客車講 ついて、道路交通法第10 を報告する。 『 実 施 (4:	中型旅客車議習終了報告書 ついて、道路交通法第108条の2第1 を報告する。 記 実 施	受託法人代表者職 中型旅客車講習終了報告書 ついて、道路交通法第108条の2第1項第7号に規定す を報告する。 記 実 施 佐 所 氏

記様式第23号	子(第7条関係	系)					
					第		号
					年	月	日
青森県公安	委員会 殿						
			:				
				受	托法人f	代表者則	競名
			:.				
		応急救護処置講	習(二)終了報告	書			
下記の者に	こついて、道	直路交通法第1	08条の2第1	項第8号	・に規定	E する	講習
終了したこ。	とを報告する	5.					
			記				
終了証明書	実 施	住	所	氏		名	性
番号	年月日	133		生	年 月	l E	Я
	-						-
	-						
	1						
							1

別記様式第22号(第7条関係)

			第		号
			年	月	H
青森県公安	委員会 殿				
		·			:
			受託法人	44 × 44	ds. Az
			文託伝入	11/32/11/	联治
		·			
		応急救護処置講習(一)終了報告書			
		直路交通法第108条の2第1項第	第8号に規	定する	講習を
終了したこと	: を報告する	•			
		記			
終了証明書	実 施		氏	名	件
番 号	年月日	住 所	生年		5H
					+
1	1		1		1

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第23号 (第7条関係)

					年		月	Ħ
青森県公安	委員会 殿							
				受託法。	人代表	長者!	職名	Œ
		応急救護処置語	講習(二)終了報告書	F				
下記の者に 終了したこと			108条の2第1項 記	第8号	・に規	定	するま	講習 を
終了証明書 番 号	実 施年月日	住	所	氏生	年	月	名日	性別
	l							

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第22号(第7条関係)

				第		号
				年	月	Ħ
青森県公安	委員会 殿					
			a	受託法人代表:	老職名	67 67
						1
		応急救護処置講習	(一)終了報告書	F		
		直路交通法第108	条の2第1項	第8号に規2	定する記	業習る
終了したこと	を報告する		1			
Ab or See off also	<i>m</i> #	it	1	rf.		Dr.
終了証明書 番 号	実 施 年月日	住	所	生 年 月	名 目 日	性別
to the second second	4 5 11 11 11 11	· 商娄相枚 Δ 列 / 1	g 1 1-7			

別記様式第23号の3 (第7条関係)	
	第 号 年 月 日
青森県公安委員会 殿	
	受託法人代表者職名
指定自動車教習所職員	負講習受講申請書送付書
	た指定自動車教習所職員講習(
)において受理した指 送付します。	定自動車教習所職員講習受講申請書を
	記
件 数 件	
教 習 所 名	受 講 者 数
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	Ž.
	,
	Α.
	<u> </u>
	\(\frac{\chi}{\chi}\)
	.
	Α.
	<u> </u>
	\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.
	, ,
·	
	<u> </u>
	<u> </u>
	<u> </u>
	人
	<u> </u>
	<u>,</u>
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	<u> </u>
	1
合 計	Λ

別記様式	第23号の 2	(第7条関	系)					
						第		号
						年	月	H
青森県	公安委員会	殿						
						75 46 16 1	(I) also also	with . 6v
						受託法人	、代表者	職名
		指定自動車		4日 # 羽	中长生面	ate		
	:	日化日則年	4 叙自 別 郡	以只語 白:	天旭 司 四			
指定自	動車教習所職	員議習の2	主施計画	を下記の	シンおり剝	8告1.ます	-	
III AL III :	## 4X EI // 146	454 BH E */:	大旭田四	C 1 HG v.	/ C 40 / #I	хы ож ,	0	
			記					
	1	1			1			
講習区分	実施年月日	時間	場	所	講習	事項	講自	币等

別記様式第23号の3 (第7条関係)

別記体式第23 5003 (第7 采渕保)	
	第 号
	年 月 日
	T 71 II
青森県公安委員会 殿	
	,
	受託法人代表者職名 囙
	1
指定自動車教習所職員	講習受講申請書送付書
	the state of the first and the state of the state of
	と指定自動車教習所職員講習(
) において受理した指定 送付します。	E自動車教習所職員講習受講申請書を
达刊 します。	
4	5
	証紙金額合計 円
教習所名	受講者数
	人
	人
	人
	人
	人
	<u> </u>
	<u></u>
	<u>, </u>
	<u></u>
	<u> </u>
	人 人
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	<u></u>
	人
	人
	, ,
	人
	人
	<u> </u>
	人 人
	<u> </u>
	<u> </u>
승 計	<u>, </u>
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	八月14年14年2

別記様式	第23号の 2	第7条関	系)		
				第	号 月 日
				平	月 日
青森県	公安委員会	殿			
				受託法人代表	者職名 刞
		指定自動車	「教習所職員講習	実施計画書	
指定自!	動車教習所職	員講習の	実施計画を下記の	とおり報告します	•
			記		
講習区分	実施年月日	時間	場所	講習事項	講師等
_	·			l	<u> </u>

別記様式第23号の4 (第7条関係)

第 号 年 月 日 青森県公安委員会 殿 受託法人代表者職名 指定自動車教習所職員講習実施結果報告書 道路交通法第108条の2第1項第9号に規定する指定自動車教習所職員 講習 () を終了したので報告します。 記 教習所名 受講対象者数 受講者数 未受講者数

合 計 備考1 講習事項及び各教習所の未受講者名簿を添付すること。 2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

別記様式第23号の4 (第7条関係)

青森県公安委員会 殿 受託法人代表者職名 囼 指定自動車教習所職員講習実施結果報告書 道路交通法第108条の2第1項第9号に規定する指定自動車教習所職員 講習() を終了したので報告します。 記 教習所名 受講対象者数 受講者数 未受講者数 合 計 講習事項及び各教習所の未受講者名簿を添付すること。 2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

更新時・特定失効者・特定取消処分者講習実施結果報告書(年 月)	別記様式第24	号(第7条	関係)													
	-														第	号
要新時・特定失効者・特定取消処分者講習実施結果報告書(年 月)															年	月 日
Type	青森県公安	委員会 熈	ţ										1			
区分 優良運転者講習 一般運転者講習 遊反運転者講習 初回運転者講習 合 計															受託法人们	弋表者職名
区分 優良運転者講習 一般運転者講習 遊反運転者講習 初回運転者講習 合 計																
場所 日数 回数 受講者数 日数 回数 同数					更新時・特	寺定失効者	• 特定取消	é処分者講 ³	習実施結	果報告書(年	月)				
場所 日数 回数 受講者数 日数 回数 同数	区分	優	良運転者講	習	_	般運転者請	習	違原			初回	回運転者記		合		計
 免許センター 八戸散験場 弘前散験場 五所川原(金木) 県 石(大鰐) 十和田 一股の方式 一方の方式 /ul>	場所														回数	
弘前試験場 五所川原 (金木) 黒石 (大勝) 十和田 三沢 野辺地 つがる 三戸 鯵ケ沢 青森南 七戸 外ケ派 五戸 板柳 下内	免許センター															
むつ試験場 五 所川原 (金木) 黒 石 (大鰐) 十 和 田 三 沢 野 辺 地 つ が る 三 戸 鯵 ケ 沢 青 森 南 七 戸 外 ヶ 浜 五 戸 板 柳 大 間 平 内	八戸試験場															
五 所 川 原 (金木) 黒 石 (大鰐) 十 和 田 三 沢 野 辺 地 つ が る 三 戸 鰺 ケ 沢 青 森 南 七 戸 外 ケ 浜 五 戸 板 柳 大 間 平 内	弘前試験場															
(金木) 黒 石 (大鰐) 十 和 田 三 沢 野 辺 地 つ が る 三 戸 鰺 ケ 沢 青 森 南 七 戸 外 ヶ 浜 五 戸 板 柳 大 間 平 内	むつ試験場															
黒 石 (大鰐) 十 和 田 三 沢 野 辺 地 つ が る 三 戸 鰺 ケ 沢 青 森 南 七 戸 外 ヶ 浜 五 戸 板 柳 大 間 平 内	五所川原															
(大鰐) 十和田 三沢 別別 野辺地 別別 つがる 三戸 鰺ケ沢 日本 青森南 日本 七戸 日本 外ケ浜 日本 五戸 日本 板柳 日本 平内 日本	(金木)															1
(大鰐) 十和田 三沢 別別 野辺地 別別 つがる 三戸 鰺ケ沢 日本 青森南 日本 七戸 日本 外ケ浜 日本 五戸 日本 板柳 日本 平内 日本	黒 石															
三 次 野 辺 地 つ が る 三 戸 鰺 ケ 沢 青 森 南 七 戸 ケ 浜 外 ケ 浜	(大鰐)															
つ が る 三 戸 鰺 ケ 沢 青 森 南 七 戸 外 ケ 浜 五 戸 板 柳 大 間 平 内	十 和 田															
つ が る 三 戸 鰺 ケ 沢 青 森 南 七 戸 外 ケ 浜 五 戸 板 柳 大 間 平 内	三沢															
三 戸 鰺 ケ 沢 青 森 南 七 戸 外 ヶ 浜 五 戸 板 柳 大 間 平 内	野 辺 地															
鰺 ケ 沢 青 森 南 七 戸 外 ヶ 浜 五 戸 板 柳 大 間 平 内																
青森南 七戸 外ヶ浜 五戸 板柳 大間 平内	三戸															
七 戸 外 ケ 浜 五 戸 板 柳 大 間 平 内	鯵ケ沢															
外 ケ 浜 コープ 五 戸 コープ 板 柳 コープ 大 間 コープ 平 内 コープ																
五 戸																
板 柳 大 間 平 内	外 ヶ 浜															
平内	五戸															
平内	板柳															
	大 間															
<u> </u>																
	合 計															

- 備考1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
 - 2 該当する講習を○で囲むこと。

別記様式第24	号(第7条	(関係)													
														第	号
														年	月 日
青森県公安	委員会 展	ž										:			
													受訊	法人代表	者職名 囯
													·		
				更新時・特	寺定失効者	• 特定取消	肖処分者講	習実施結:	果報告書(年	月)				
区分	ДK	良運転者調	禁 333	_	般運転者請	E AIR	冶		巷 33	żπi	回運転者割	集 羽	合		計
場所	日数	回数	受講者数	日数	回数	受講者数	日数	回数	受講者数	日数	回数	受講者数	日数	回数	受講者数
免許センター	日奴	四奴	又冊日奴	日奴	四奴	又两日奴	日奴	四数	又两日奴	日奴	四数	又時日奴	日奴	四奴	又两日奴
八戸試験場															+
弘前試験場															
むつ試験場															
五所川原															
(金木)			 												1
黒 石															
(大鰐)			 												1
十 和 田															
三沢															
野 辺 地															
つ が る															
三 戸															
鯵ケ沢															
青 森 南															
七戸															
外ヶ浜															
五戸															
板柳															
大 間															
平内															
合 計		l			l	1		1	l		1		l		
_															

- 備考1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
 - 2 該当する講習を○で囲むこと。

別記様式第26号(第7条関係) 青森県公安委員会 殿 受託法人代表者職名 高齢者講習実施結果報告書(下記の者について、道路交通法第108条の2第1項第12号に規定する講 習を終了したので報告します。 氏 名 生年月日 免許証番号 種 番号 別記様式第25号(第7条関係)

青森県公安委員会 殿 高齡者講習実施計画書 道路交通法第108条の2第1項第12号に規定する講習の実施について、下記のとおり計画したので報告します。 開始時間 前時 分から 受講可能人数 75歳以上第3分類 75歳以上第1・第2分類 午後 分から 分から 分から 分から 7 5 歳 未 満 午前 7 5歳以上第3分類 午後 75歳以上第1・第2分類 午後 分から 日() 75歳以上第3分類 75歳以上第1・第2分類
 7
 5
 歳
 未
 満
 午前

 7
 5
 歳
 よ
 満
 午前

 7
 5
 歳
 以
 上
 第
 3
 分類
 午後
 分から 分から 分から 日() 午前午後 75歳以上第1・第2分類 日() 75歳以上第3分類 午後 75歳以上第3分類 午後 75歳以上第1・第2分類 午後 分から 7 5 歳 未 満 午前 7 5歳以上第3分類 午後 分から 分から 分から 75歳以上第1・第2分類 午後

7 年 () 75歳以上第1・第2分類 午前 午後 備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

5 歳 未 満 日() 75歳以上第3分類

別記様式第26号(第7条関係)

青森県公安委員会 殿 受託法人代表者職名 囯 高齢者講習実施結果報告書(下記の者について、道路交通法第108条の2第1項第12号に規定する講習を終了したので報告します。 記 名 性 免 許 _{免 許}

用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。 ()には、高齢者講習の区分を記載すること。

終了証明書	1±.	所	年		性別	発種	別	免	許	証	番	号	週 郑 番 号	
														1
														-
														1
														1
														ı

備考1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。 2 ()には、高齢者講習の区分を記載すること。

別記様式第25号(第7条関係)

В 青森県公安委員会 殿 受託法人代表者職名 囯 高齡者講習実施計画書

道路交通法第108条の2第1項第12号に規定する講習の実施について、下記の とおり計画したので報告します。

実	施		日		区	分	開	始	時間	受講可能力
					7 5 歳	未 満	午前	時	分から	
月		日	()	75歳以上第	第3分類	午後	時	分から	
71		н	,	,	75歳以上第1・	第9公額	午前	時	分から	
					73成以上第1	964万规	午後	時	分から	
					7 5 歳	未 満	午前	時	分から	
月		日	()	75歳以上第	第3分類	午後	時	分から	
- /1		_	,	_	75歳以上第1・	第9分類	午前	時	分から	
					100000000000000000000000000000000000000	917 2 JJ 984	午後	時	分から	
					7 5 歳	未 満	午前	時	分から	
月		日	()	75歳以上第	第3分類	午後	時	分から	
- /4		_	,	_	75歳以上第1・	第9分類	午前	時	分から	
					100000000000000000000000000000000000000	917 2 JJ 984	午後	時	分から	
					7 5 歳	未 満	午前	時	分から	
月		日	()	75歳以上第	第3分類	午後	時	分から	
- /4		_	,	_	75歳以上第1・	第9分類	午前	時	分から	
						317 2 JJ 384	午後	時	分から	
					7 5 歳	未 満	午前	時	分から	
月		日	()	75歳以上第	第3分類	午後	時	分から	
- /4		_	,	_	75歳以上第1・	第9分類	午前	時	分から	
					108227391	317 2 JJ 384	午後	時	分から	
					7 5 歳	未 満	午前	時	分から	
月		日	()	75歳以上第	第3分類	午後	時	分から	
- /1			•	_	75歳以上第1・	第9分類	午前	時	分から	
					10版4人上第1	カング 規	午後	時	分から	
					7 5 歳	未 満	午前	時	分から	
月		日	()	75歳以上第	第3分類	午後	時	分から	
Л		н	'		75歳以上第1・	00r n /\ 995	午前	時	分から	

号

別記様式第28号(第7条関	係)			
			第	号
			年	月 日
青森県公安委員会 殿				
		:		
		<u></u>	受託法人代	表者職名
	特定任意講習実施	結果報告書		
下記の者について、道	自路交通法第108年	●の2第2項1	こ規定する。	置習を終了
したので報告します。			- //2 //2 / 0 0	
AA-verywada.	記 氏 名	性 免 許		通知
終了級明書 音 号	生年月日	別種別	免許証番	F 号 番号
備考 用紙の大きさは、日	本産業規格A列4	番とする。		

別記様式第27号(第7条関係)

							第年	月	号日
青森	県公安委	員会 殿							
							受託法人	长去者	職名
		違反者講	習実施結果報告書	F (-)		
下雪	アの老に	ついて	道路交通法第10	18名	m 9 :	年 1 1	百第13早に	相定	ナスに
		ので報告		70 A		A7 I -	R 99 10 9 10	M AL	7 21
番号	住	所	氏 名 生年月日	性別	免種	許別	免許証	番号	通知番号
				_			1		

- - 1651 用版の人きさは、日本医米税恰も列す音とりな。 2 () には、社会参加活動を含む講習又は社会参加活動を含まない講習の別を記載すること。

別記様式第28号(第7条関係)

			第 号
			年 月 日
青森県公安委員会 殿			
		,	
		受託法人代	表者職名 回
		i	
	特定任意講習実施新	吉果報告書	
下記の者について、道	路交通法第108条	の2第2項に規定	する講習を終了
したので報告します。			
	記		
^{終了証明書} 住 所	氏 名 化	生 免 許 会 弈	証番号 通知
香 号	生年月日 5	到種 別	番号
備考 用紙の大きさは、日	本産業規格 A 列 4 番	シナる.	

別記様式第27号(第7条関係)

F3 /PF		員会 殿			:	me No. 1 /h ala de will da	
					受	託法人代表者職名	Ш
		違反者講	習実施結果報告	善 ()	
		ついて、			の 2 第 1	項第13号に規定。	上る!
番号	住	所	氏 名 生年月日	性別	免 許種 別	免許証番号	通番

2 () には、社会参加活動を含む講習又は社会参加活動を含まない講習の別を 記載すること。

										第			号
											J.		F
青森	県公安委員会	殿											
								í	4	託法人作	・ナオ	・職々	z
								÷.,					
			チャ	・レン	ジ講習	到実施	を 結果	報告	書				
TC 20	の者についっ	- 196	ο <i>υ</i> ν⁄α να	34 dds	100%	. m. n	tti o	TH 17	相中土	v na 33 ≯.	64 Z	1 4	
報告し		、	的火地	医 第	100%	:0) 2	96 4	供に	观化9	の時日で	165 J	U /	
	0. 70					記							
結果確認書	住	所	氏		名	性	免		免許	証番号	通		
番 号			生	年 月	H	別	種	別	70 HI	7	番	号	ľ
						+							H
						\vdash					-		L
						Ħ							l
											_		L
						+					+		H
			1						1		1		
													ı

別記様式第29号(第7条関係)

					第年	月	
青森	県公安委員会 殿				受託法人	代表者則	歳名
	特定任意高齡	者講習実施結果報	告書	F ()		
	己の者について、追)で報告します。	i路交通法第108条記	€ Ø	2第2項1	こ規定する	5購習	と終了
終了証明書 号	住 所	氏 名 生年月日	性 別	免 許 種 別	免許証	番号	通知番号

- 備考1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。 2 ()には、シニア運転者講習又は簡易講習の別を記載すること。

別記様式第30号(第7条関係)

										第		号
										年	月	日
事本	県公安委員会	123										
日本	ポムダ女具云	PSX										
										• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
									受託法人代	表者	職名	Ð
			チャ	レン	ジ講習	主力	布结里	報告:	it.			
			_ '		v 1117 🖂	/ //	E //H //C	TK 14 1	-			
								_				
	の者について	、道	格交通	法第	108条	の 2	2 第 2	項に	規定する講習	すを	終了し	たので
報告し	ます。											
					1	2						
結果確認書			氏		名	性	免	許			通知	1
	住	所		年月		別			免許証番	号	番号	
番 号			土	平 月	Р	カリ	1里	かり			田力	F
						_						\perp
						-						+-
	紅の十キャル					<u> </u>	<u> </u>		l			

別記様式第29号(第7条関係)

	特	定任意	高高	命者	講	習実	施糸	吉果	報告	書	()			
	の者にで報告			道日	各交	通	去 第	108	条の	2	第	2 項	に規	定	する	講	習	 終
終了証明書	住		所		氏生	年	月	名	性別	1	免 種	許別	免	許	証	番	号	通番
				-														
				-						L			-					

則第三号)の一部を次のように改正する。

(青森県公安委員会審査請求手続規則の一部改正)

第五条 青森県公安委員会審査請求手続規則(平成二十八年三月青森県公安委員会規 改正後欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分のように改める。 次の表により、改正前欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分をこれに順次対応する

別記様式第2号(第17条関係) 年 月	別記様式第1号(第10条関係、	第17条、第27条関係)	年 月 日	٦
提出物目録		還付請書	, и	
		XE 11 HH E		
青森県公安委員会	青森県公安委員会 殿			
行政不服審査法 の規定により、下記のとおり	·	住所		
受領した。			,,	
記		氏名		
事業の件名	下記の目録の物件の還付を	受け、領収しました。		
提 氏名		記		改
出 人 住 所		目 録		
提出を受けた	番号標	B	数量備考	
年月日				正
目 録				
番号標目数量	考			丝
				後
取扱者 官職 氏名				
 (提出人への注意事項) 提出した物件の返還を受けようとするときは、この	頭を持参			
してください。	取扱者 官職	氏名		
備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。	備考 用紙の大きさは、日本	★産業規格A4とすること。		-
	四部松平坡,日(坡10名間が	Mr.178 Mr.078 BB16)		
別記様式第2号(第17条関係) 年 月	別記様式第1号(第10条関係、日	知11末、知21末民际)	年 月 日	7
提出物目録		還付請書		
青森県公安委員会	青森県公安委員会 殿			
行政不服審査法 の規定により、下記のとおり	8	住所		
受領した。		氏名		
記			1.22.1	
事業の件名	下記の目録の物件の還付を	受け、領収しました。		→
提氏名		記		改
人 住 所		目 録		
提出を受けた	番号標	目	数量備考	ਜ
年 月 日				正
目 録				
番号標目数量	考			前
				Hil
取扱者 官職 氏名 @				
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	頭を持参			1
(近山八への任息争集) 近山じた物計の返歴を支わまりとするとさば、こ。 してください。	取扱者 官職	氏名	(1)	
備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。	備考 用紙の大きさは、日本	本産業規格A4とすること。		-

附 則

(施行期日)

第一条 この規則は、令和三年四月一日から施行する。 (経過措置)

第二条 この規則による改正前の様式 (次項において「旧様式」という。) により使 用されている書類は、当分の間、この規則による改正後の様式によるものとみな

2 旧様式による用紙については、当分の間、これを取り繕って使用することができ る。

青森市長島一丁目一番一号 青森市長島一丁目一番一号

東奥印刷株式会社(印刷所・販売人)

毎週月・水・金曜日発行 定価 小口一枚ニ付十五円